



ホテル旅館の SDGs ガイドブック



旅館ホテル持続可能な経営推進事業
ワーキンググループ

目次

1 持続可能な開発目標SDGs(エス・ディー・ジーズ)について	1
●SDGs17目標	1
●169のターゲットとその指標	3
●SDGsウェディングケーキモデル	5
●SDGs推進の3つの特徴	7
2 SDGsへ取組むことのメリットについて	9
3 SDGs推進に関連するホテル旅館の業務について	10
4 SDGsの取組みを進める上での留意点について	15
5 「SDGsへの取組み」の作成について	18
●「SDGsへの取組み」に記載するホテル旅館の業務の選択	18
●「SDGsへの取組み」を記載する際の留意事項	19
●「SDGsへの取組み」の記載例	20
●SDGs取組み業務の拡大	22
6 SDGsへの取組んでいることの情報発信について	24
7 現状や目標の数値化について	26
●数値化する際の留意事項	26
●数値化した「SDGsへの取組み」の記載例	28
8 困難業務の達成を目指す「SDGsへの取組み」について	30
【次年度課題】	
9 地域と連携したSDGsの推進について	31
【参考資料】	
SDGs17の各目標に該当するホテル旅館の業務や取組み一覧	32
SDGs取組み実態アンケート結果	34
「旅館ホテル持続可能な経営推進事業」調査検討ワーキング	45

1

エス・ディー・ジーズ 持続可能な開発目標 SDGs について (外務省HPより)

持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals) とは2001年に策定されたミレニウム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

17のゴールと具体的な目標値を示した169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

SDGsの17目標

SDGs 17のゴールが対象とする課題に着目すると、次の4つに分類されます。

【社会的課題に関するゴール】

1から6のゴールについては、貧困や飢餓、平等、健康、教育、ジェンダー、安全な水とトイレなどの「人間が人間らしく生きていくための社会的な課題」に関する目標です。



1. 貧困をなくそう
あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ



4. 質の高い教育をみんなに
すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



2. 飢餓をゼロ
飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する



5. ジェンダー平等を実現しよう
ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る



3. すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



6. 安全な水とトイレを世界中に
すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

【経済活動の課題に関するゴール】

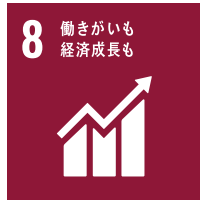
7から12のゴールについては、経済成長、強靱化、国と人の平等、経済発展のような「最低限の暮らしの保証」から「良好な暮らし」に至るまでの「経済的な課題」に関する目標です。



7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
 すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



10. 人や国の不平等をなくそう
 国内および国家間の格差を是正する



8. 働きがいも経済成長も
 すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する



11. 住み続けられるまちづくりを
 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする



9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
 強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る



12. つくる責任 つかう責任
 持続可能な消費と生産のパターンを確保する

【自然の持続可能性に関するゴール】

13から15のゴールについては、気候変動対策や海と陸の豊かさなど、人間だけでなく動植物が暮らす「自然の持続可能性という環境の課題」に関する目標です。



13. 気候変動に具体的な対策を
 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



14. 海の豊かさを守ろう
 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する



15. 陸の豊かさも守ろう
 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る

【推進の枠組みに関するゴール】

16と17の目標については、SDGsの目標を達成するために、上記 1～15の3分野すべてに関するもので、暴力の撲滅・ガバナンス強化・投資促進・パートナーシップなど「推進の枠組み」に関する目標です。



16. 平和と公正をすべての人に
 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する



17. パートナーシップで目標を達成しよう
 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

169のターゲットとその指標

SDGsの17目標には、169のターゲットと指標があります。

詳細は、総務省の該当ページを参照してください。

[総務省トップ](#) > [組織案内](#) > [政策統括官\(統計制度担当\)](#) > 持続可能な開発目標(SDGs)

(https://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/kokusai/02toukatsu01_04000212.html)



以下に、「ゴール1 貧困をなくそう」の7ターゲットと14指標を抜粋しました。

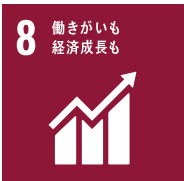

ゴール1 あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

ターゲット	指標
1.1 2030年までに、現在1日1.25ドル未満で生活する人々と定義されている極度の貧困をあらゆる場所で終わらせる。	1.1.1 国際的な貧困ラインを下回って生活している人口の割合（性別、年齢、雇用形態、地理的ロケーション（都市/地方）別）
1.2 2030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、すべての年齢の男性、女性、子供の割合を半減させる。	1.2.1 各国の貧困ラインを下回って生活している人口の割合（性別、年齢別） 1.2.2 各国の定義に基づき、あらゆる次元で貧困ラインを下回って生活している男性、女性及び子供の割合（全年齢）
1.3 各国において最低限の基準を含む適切な社会保護制度及び対策を実施し、2030年までに貧困層及び脆弱層に対し十分な保護を達成する。	1.3.1 社会保障制度によって保護されている人口の割合（性別、子供、失業者、年配者、障害者、妊婦、新生児、労務災害被害者、貧困層、脆弱層別）
1.4 2030年までに、貧困層及び脆弱層をはじめ、すべての男性及び女性が、基礎的サービスへのアクセス、土地及びその他の形態の財産に対する所有権と管理権限、相続財産、天然資源、適切な新技術、マイクロファイナンスを含む金融サービスに加え、経済的資源についても平等な権利を持つことができるように確保する。	1.4.1 基礎的サービスにアクセスできる世帯に住んでいる人口の割合 1.4.2 (a)土地に対し、法律上認められた書類により、安全な所有権を有している全成人の割合（性別、保有の種類別） 1.4.3 (b)土地の権利が安全であると認識している全成人の割合（性別、保有の種類別）
1.5 2030年までに、貧困層や脆弱な状況にある人々の強靱性（レジリエンス）を構築し、気候変動に関連する極端な気象現象やその他の経済、社会、環境的ショックや災害に暴露や脆弱性を軽減する。	1.5.1 10万人当たりの災害による死者数、行方不明者数、直接的負傷者数（指標11.5.1及び13.1.1と同一指標） 1.5.2 グローバルGDPに関する災害による直接的経済損失 1.5.3 仙台防災枠組み2015-2030に沿った国家レベルの防災戦略を採択し実行している国の数（指標11.b.1及び13.1.2と同一指標）

	1.5.4 国家防災戦略に沿った地方レベルの防災戦略を採択し実行している地方政府の割合（指標11.b.2及び13.1.3と同一指標）
1.a あらゆる次元での貧困を終わらせるための計画や政策を実施するべく、後発開発途上国をはじめとする開発途上国に対して適切かつ予測可能な手段を講じるため、開発協力の強化などを通じて、さまざまな供給源からの相当量の資源の動員を確保する。	1.a.1 貧困削減に焦点を当てた、全てのドナーからの合計政府開発援助（ODA）総額（受益国の国民総所得に占める割合） 1.a.2 総政府支出額に占める、必要不可欠なサービス（教育、健康及び社会的な保護）への政府支出総額の割合
1.b 貧困撲滅のための行動への投資拡大を支援するため、国、地域及び国際レベルで、貧困層やジェンダーに配慮した開発戦略に基づいた適正な政策的枠組みを構築する。	1.b.1 貧困層のための公共社会支出

また、169のターゲットのうち、「観光」に関連する記述のあるものは、次のとおりです。

「観光」に関連するターゲットと指標

目 標	ターゲット	指 標
 <p>8 働きがいも経済成長も</p> <p>包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する</p>	8.9 2030年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。	8.9.1 全GDP及びGDP成長率に占める割合としての観光業の直接GDP
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> <p>包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p>	11.4 世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。	11.4.1 全ての文化及び自然遺産の保全、保護及び保存における総支出額（資金源別（公的部門、民間部門）、遺産のタイプ別（文化、自然）、政府レベル別（国、地域、地方、市）
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p> <p>持続可能な生産消費形態を確保する</p>	12.b 雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業に対して持続可能な開発がもたらす影響を測定する手法を開発・導入する。	12.b.1 観光の持続可能性の経済的及び環境的側面を測定するための標準的な計算ツールの導入

SDGsウェディングケーキモデル（「SDGsメディア」より）

SDGs 17目標の分類や相互の関係性については、様々な見解がありますが、SDGsを階層的に説明するものの一つに「ウェディングケーキモデル」があります。

SDGsの17目標が関連する“課題”で分類した場合、地球環境など生存に関わる根幹的な課題から、個人・人権など個々の人間の課題、そして社会・経済活動というように、階層的になっており、「ウェディングケーキモデル」として説明されます。

最下段の根幹的な目標としては、水の保全や気候変動対策、海と陸の豊かさなど、地球環境に関する課題の「生物圏」があり、人間の活動、社会・経済活動など、あらゆる活動を支えています。

中段には、貧困や飢餓、平等、ジェンダーなどの「社会圏」の課題があります。

最上段には、生物圏、社会圏に支えられ、経済成長、強靱化、国と人の平等、経済発展など「経済圏」の課題があります。



①SDGsウェディングケーキモデルの最下層を構成する「生物圏」

SDGsウェディングケーキモデル最下層の「生物圏」には、下記の4目標が含まれます。

- 目標 6. 安全な水とトイレを世界中に
- 目標13. 気候変動に具体的な対策を
- 目標14. 海の豊かさを守ろう
- 目標15. 陸の豊かさも守ろう

「生物圏」は、私たちが地球上で暮らす上で必要不可欠な要素である海や森林などの“環境問題”や“気候変動”についての目標が含まれています。

昨今では、数十年前とは比べ物にならないほどに世界中の国や技術が発展・成長を続けていますが、それらは、“自然環境”が土台になることによって生み出されており、「社会」と「経済」は「環境」無くしては成り立ちません。

持続可能な「社会圏」「経済圏」を支えるためにも、その土台となる「生物圏」のそれぞれの目標を達成しなければならないのです。

②SDGsウェディングケーキモデルの中間層を構成する「社会圏」

SDGsウェディングケーキ中間層の「社会圏」には、下記の8目標が含まれます。

- 目標 1. 貧困をなくそう
- 目標 2. 飢餓をゼロに

- 目標3.すべての人に健康と福祉を
- 目標4.質の高い教育をみんなに
- 目標5.ジェンダー平等を実現しよう
- 目標7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 目標11.住み続けられるまちづくりを
- 目標16.平和と公正をすべての人に

「社会圏」では、私たち人間が不自由なく生活し、働けるような世界を作り上げるための目標が含まれています。

「生物圏」によって私たちが暮らす生活環境が整ったとしても、“健康問題”“差別・偏見”“教育環境”といった、生活基盤に必要な社会環境が整わなければ持続可能な社会の実現・維持は不可能です。

「社会圏」に含まれるそれぞれ目標を達成することで、持続可能な社会に必要な「経済圏」の基盤を作り上げることにつながります。

③SDGsウェディングケーキモデルの上層部を構成する「経済圏」

「生物圏」「社会圏」の2層によって支えられているSDGsウェディングケーキの「経済圏」には、17の目標のうち下記の4つが含まれています。

- 目標8.働きがいも経済成長も
- 目標9.産業と技術革新の基盤をつくろう
- 目標10.人や国の不平等をなくそう
- 目標12.つくる責任 つかう責任

「経済圏」では、社会で働く人々の“働きやすさ”や、人や国に対する差別や偏見をなくすことで、国や世界の経済発展につながるとしています。

そのためには、「生物圏」「社会圏」のそれぞれの目標を達成することが必要不可欠であり、経済の発展は環境と社会の上に成り立つことによって実現が可能になります。

④SDGsウェディングケーキモデルの頂点となる「SDGs目標17」

「経済圏」「社会圏」「生物圏」の3層から構成されるSDGsウェディングケーキですが、その頂点には目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」が設定されています。

目標17では、国や企業をはじめとした全世界の人々がパートナーシップを組むことで、持続可能な社会を作り上げることを目標にしています。そして、目標17を達成するためにも、「経済圏」「社会圏」「生物圏」それぞれの層における役割を世界中の国や人々が理解し、目標達成に向けて一歩ずつ活動していかなければなりません。

SDGs推進の3つの特徴

SDGs推進には、次の3つの特徴があるとされます。

- ①SDGsは、発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、取り組みの過程で地球上の誰一人として取り残さない
- ②SDGsの目標(ゴール)とターゲットは「統合され、不可分のもの」であり、環境・経済・社会の持続可能な開発の三側面のバランスがとれ、統合された形で達成する。
- ③持続可能な開発のキーワードとして、「人間(People)」「地球(Planet)」「繁栄(Prosperity)」「平和(Peace)」「連帯(Partnership)」の「5つのP」を掲げる。

①地球上の課題に発展途上国のみならず先進国も取り組み、誰一人取り残さないという考え方

SDGsの前身である2000年に国連が採択した国際目標「ミレニアム開発目標(MDGs)」では、着実に結果を出そうと、限られたお金と人材が分散してしまわないよう、「極度の貧困と飢餓の撲滅」等、8つの分野に集中しました。

この結果、沢山の人が貧困から抜け出し、教育や保健、子どもや女性の権利や環境課題においても、様々な改善が見られましたが、MDGsが作られた2000年代には、貧困や飢餓に苦しむ人が非常に多く、効率的により多くの人が恩恵を被れるようにすることが大切であったため、マジョリティーやリーチしやすい人々への取り組みが多くなされ、その結果、少数者は後回しになり、持つ人と持たない人の格差が生じることもありました。格差は、テロや難民など、国際社会における問題の主要原因のひとつになりました。

このMDGsの残された課題や教訓を引き継ぎ、SDGsでは、17の目標設定に加えて、新たに「誰一人取り残さない」という原則が採用され、数や効率ではなく、格差をなくすことが、SDGsの原則となり、「誰一人取り残さない」、そして「最も遅れているところに第一に手を伸ばす」ことが重要とされました。

最も貧困な状態に置かれている人々、ニーズが高いにも関わらずこれまで支援が届いていなかったところ、具体的には子ども、若者、障害のある人、エイズと生きる人、高齢者、先住民、難民、国内避難民、移民等を優先していくことが、SDGsの特色となりました。

(「SDGsが目指す『誰一人取り残さない』グローバル社会」(井筒節：東大大学院特任准教授))

②SDGsの17の目標(ゴール)と196のターゲットが設定されている

「誰一人取り残さない」ために目標と目標達成に必要なあらゆるレベルのあらゆる分野にわたる具体的な取り組み内容(ターゲット)を設定しています。

193の加盟国が目標達成に向けて日々取り組んでおり、生活様式や宗教など異なる場合があるので、達成方法まで設定してしまうと、「日本で取り組める達成方法が、ほかの国では宗教上の理由で取組めない」などの問題が発生した場合、その国だけ置き去りになってしまうことから、SDGs

は、目標とターゲットのみの設定となり、目標の達成方法までは設定せず、達成できない国が出ないようにしています。

③持続可能な開発のキーワード「5つのP」（「2022 gooddo マガジン」より）

人間 (PEOPLE)

全ての人の人権が尊重されること、そして平等に潜在能力を発揮できる社会を目指し、貧困や飢餓の終息を目標に、ジェンダー平等を達成することも目標にしています。

Peopleは「人間」を表しているため、すべての人々に平等な教育、清らかな水や衛生面の充実、健康的な生活を保障できる社会の実現が目標です。

地球 (PLANET)

消費と生産に責任を持つことや、天然資源の持続可能でかつ的確な管理、気候変動への対応などが目標になっています。

地球をあらゆる災害や破壊行動から守ることを目標に掲げ、誰もが安心して暮らせる社会の実現を目指します。

水や衛生面でも、すべての人々が安全な水を飲むことができ、また持続可能な衛生管理が望まれており、地球全体の環境問題の解決にも取り組んでいます。

豊かさ (PROSPERITY)

全ての人達が豊かな生活を送り、充実できるようにと目標が立てられています。

自然と調和できる経済や、技術や社会の進展を確保するため、豊かさを表すProsperityが5つのPの中に含まれています。

平和 (PEACE)

すべての人が平和と公正を享受し、恐怖と暴力を受けない社会のための目標を掲げています。また、同時にすべての人が受け入れられ、かつ参加できるインクルーシブな世界の実現を目指しています。これは、持続可能な開発のためでもあり、平和な社会を促進するためでもあります。

すべての人に司法のアクセスができるように機会を与え、あらゆる状況においても効果的かつ説明責任のある制度の確立も目標になります。

パートナーシップ (PARTNERSHIP)

PartnershipのPでは「政府」や「民間セクター」「市民社会」「国際機関」などの多様な関係性で結ばれた者たちが参加できるグローバルなパートナーシップを目標とします。グローバルな社会は、一種の連帯責任社会でもあり、グローバルパートナーシップが確立できれば、弱者のニーズを重視することもでき、すべての人達が一丸となって達成に向けて努力できるでしょう。

2 SDGsへ取組むことのメリットについて

SDGsの取組みを進めることで、一般的に次のメリットが有るとされます。

- ①新規事業創出につながる
- ②企業のイメージアップにつながる
- ③製品やサービスに付加価値が生まれる
- ④資金調達が有利になる
- ⑤持続可能な観光ビジネスの実現

①新規事業創出につながる

これまで重点的に取組まれていなかったものの、早急な対応が求められる課題がSDGsには多く盛り込まれており、課題解決のために、これまでにはない新たなビジネスモデルを考える必要が出てくるため、SDGsの取組みを進めることで、新規事業の創出につながります。

②企業のイメージアップにつながる

世界共通の目標であるSDGsに取組む企業は、「社会責任を果たしている」と認識され、企業のイメージアップにつながります。

また、企業が注目されるきっかけとなり、優秀な人材の確保も期待されます。

③製品やサービスに付加価値が生まれる

環境に配慮した素材を製品に使ったり、二酸化炭素を出さない方法で生産したり、サービスを提供することで、見た目や機能が同じであったとしても、製品やサービスに付加価値が生まれ、消費者が購入を決める際の判断材料のひとつとなり、結果的に売上げ向上にもつながります。

④資金調達が有利になる

環境(Enviroment)、社会(Social)、企業統治(Governance)の“E・S・Gを重視した投資”が世界規模で推進されており、このE・S・Gを考えるうえでSDGsが重要な指標となっていることから、SDGsに積極的に取組むことで“E・S・G投資”の対象として見なされ、資金調達が有利になります。

⑤持続可能な観光ビジネスの実現

自然や歴史・文化等の地域資源の向上が、その地を訪れる顧客の維持・増大をもたらし、持続可能な観光ビジネスにもつながります。

3 SDGs推進に関連するホテル旅館の業務について

ホテル旅館の様々な業務で、SDGsに関連するものについて、「利用者の安全・安心」「地球環境の保全」「良好な職場環境」「地域との連携」「国際社会への働きかけ」の5つの大きな目的ごとに、次のように分類・体系化しました。

その上で、これらの業務がSDGs17目標のどれに該当するかを一覧で記した「宿泊業の具体的な業務・取組みが貢献するSDGs目標の一覧」を作成し、その後、組合員を対象に「SDGs取組み実態アンケート調査」を実施し、「SDGsのその他の取組み」として回答記載のあったものを、追加し一覧表を充実しました。

【ホテル旅館におけるSDGsに関連した業務体系(大きな柱と16の体系)】

利用者の安全安心を目指す取組み

1. 利用者の健康に関する取組み
2. 利用者の安全・安心に関する取組み（災害等への備え）

地球環境の保全を目指す取組み

3. 地球環境への負荷を軽減する取組み
4. 水資源を守る取組み
5. 再生エネルギーを利用する取組み
6. 節電でエネルギー消費を削減する取組み
7. 高効率や省エネで化石燃料の消費を削減する取組み
8. フードロス削減する取組み
9. プラスチック削減する取組み
10. ペットボトル削減する取組み
11. 資源の消費量を削減する取組み
12. 資源リサイクルの取組み

良好な職場環境を目指す取組み

13. 働きやすい職場環境づくりの取組み

地域との連携を目指す取組み

14. 地域の資源を活用する取組み
15. 地域と連携した地域社会の発展に貢献する取組み

国際社会への働き掛けを目指す取組み

16. 国際社会の発展へ寄与する取組み

参考に、SDGs17目標ごとに、該当するホテル旅館業務を一覧で記載にした【SDGs17の各目標に該当するホテル旅館の業務や取組み】を巻末に添付しました。

宿泊業の具体的な業務・取組みが貢献するSDGs目標の一覧

具体的な業務・取組み内容	貧困なし	飢餓なし	健康福祉生活	生涯学習教育	男女平等	水の保全	エネルギー	経済成長雇用	強靱インフラ	国と人の平等	居住持続可能	作る使う責任	気候変動対策	海の豊かを守る	陸の豊かを守る	平和公平制度	協力協働
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
【利用者の安全安心を目指す業務と取組み】																	
1 利用者の健康に関する業務と取組み																	
① お客様の健康に配慮した取組み																	
新型コロナなどの感染対策実施			○														
HACCP対応の食事提供			○														
受動喫煙対策(全館禁煙)			○														
② 誰もが快適に過ごせる取組み																	
バリアフリーの設備や対応			○							○							
複数言語でのガイドや対応			○							○							
フロントでの24時間対応			○							○							
アレルギー対応メニューを提供			○							○							
③ お客様に癒しを提供																	
温泉や飲食など休息や安眠、非日常体験で癒しと明日への活力を生み出す			○														
④ 自転車コースやピクニックコース等健康に配慮した提案																	
			○				○										○
2 利用者の安全・安心に関する業務と取組み(災害等への備えをしている)																	
災害時事業継続計画を策定している											○		○				
消防訓練や避難訓練を実施している											○		○				
非常食や飲料水を備蓄している											○		○				
お部屋に防災グッズを設置している											○		○				
要援護者受入協定を締結している											○		○				○
津波避難ビルに指定されている										○		○	○				○
【地球環境の保全を目指す業務と取組み】																	
3 地球環境への負荷を軽減する業務と取組み																	
① 環境認証のある農・海産物を使う																	
							○		○				○	○	○	○	
② 有機原材料製品を使う																	
							○		○				○	○	○	○	
③ 再生可能原材料の製品を使用する																	
食器をトウモロコシ製や紙製に												○	○		○		
間伐材製品を導入している												○	○		○		
④ 廃棄するものを減らす																	
							○					○	○	○	○		
⑤ マイクロビーズ(注)なし製品を使用																	
												○	○	○	○		
4 水資源を守る業務と取組み																	
① 節水型の機器を使用																	
トイレ、シャワーヘッド、食器洗浄機等							○					○	○				
水道節水弁を設置							○					○	○				
自動水栓に切り替える							○					○	○				
② 循環式にして節水する																	
							○					○	○				
③ 連泊時リネン類交換を希望制に																	
							○					○	○				
④ お客様と従業員の意識啓発で節水																	
							○					○	○				
⑤ 井戸水や雨水等を水遣りに活用																	
							○					○	○				

具体的な業務・取組み内容	貧困なし	飢餓なし	健康福祉生活	生涯学習教育	男女平等	水の保全	エネルギー	経済成長雇用	強靱インフラ	国と人の平等	居住持続可能	作る使う責任	気候変動対策	海の豊かさを守る	陸の豊かさを守る	平和公平制度	協力協働
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
5 再生エネルギーを利用する業務と取組み																	
薪やペレットのボイラーやストーブ使用							○		○			○	○				
囲炉裏（薪）を活用している							○		○			○	○				
太陽光や小水力発電を電力の一部に							○		○			○	○				
6 節電でエネルギー消費を削減する業務と取組み																	
① 消費電力の少ない機器を使用する																	
LED電球や省エネ空調機等を使用							○		○			○	○				
人感センサー照明に変換する							○		○			○	○				
調光機能システムで使用時間を削減							○		○			○	○				
② 意識してこまめな消灯や操作で節電する																	
節電の呼びかけをしている。							○		○			○	○				
設定温度調整をお客様へお願いする							○		○			○	○				
不必要な電源は常時OFFにする							○		○			○	○				
日中のロビーや看板照明を消灯する							○		○			○	○				
③ 仕組みや方式を変えることで節電する																	
24h飲料コーナーで客室冷蔵庫廃止							○		○			○	○				
連泊時の客室掃除などを希望制に							○		○			○	○				
7 高効率機器や省エネで化石燃料の消費を削減する業務と取組み																	
① 高効率・省エネ機器の使用																	
							○		○			○	○				
② 化石燃料の消費を削減する移手段を促進																	
エコカーや電気自動車で送迎する							○		○			○	○				
電気自動車充電設備を設置している							○		○			○	○				
サイクリストのお客様を歓迎する							○					○	○				
自転車等での周遊観光を提案する							○					○	○				○
③ 公共交通機関の利用を促進																	
お客様や従業員へ利用を呼び掛ける							○					○	○				
利用のお客様へ割引引きを行う							○					○	○				
8 フードロスを削減する業務と取組み																	
① 仕入れ方法や使い切りで食材のロスを削減																	
共通食材の使用で食材のロスを削減												○	○	○	○		
近隣の店からこまめに食材を仕入れる												○	○	○	○		○
② 食品の提供量を少なくしてロスをなくす																	
お客様の事前申告で料理分量を調整												○	○	○	○		
バイキングを大盛から小出しへ変更												○	○	○	○		
バイキングからセットメニューに変更												○	○	○	○		
③ 食べ残さないよう意識啓発している																	
食べ残し削減のポスターを掲示												○	○	○	○		
食べる時間を設ける3010運動 (注)												○	○	○	○		
④ 残余食材で子ども食堂を開催																	
賞味期限が近い食材をフードバンクへ	○	○										○	○	○	○		○
9 プラスチックを削減する業務と取組み																	
① プラスチック製品を再生可能原材料へ変える																	
紙製や陶器製のカップ・ストロー							○					○	○	○	○		
竹製のアメニティやスプーン・フォーク							○					○	○	○	○		
植物由来のごみ袋やシャワーキャップ							○					○	○	○	○		

具体的な業務・取組み内容	貧困なし	飢餓なし	健康福祉生活	生涯学習教育	男女平等	水の保全	エネルギー	経済成長雇用	強靱インフラ	国と人の平等	居住持続可能	作る使う責任	気候変動対策	海の豊かさを守る	陸の豊かさを守る	平和公平制度	協力協働
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
② プラスチック製品を廃止、減量する																	
プラスチック製のスプーン類を廃止							○					○	○	○	○		
アメニティグッズをバイキング方式に							○					○	○	○	○		
アメニティグッズの種類は最少へ削減							○					○	○	○	○		
アメニティグッズを有料化する							○					○	○	○	○		
髭剃機や洗面用具の持参を呼び掛ける							○					○	○	○	○		
③ 繰り返し使う方式や多人数で使える方式とする																	
プッシュボトルのシャンプー・リンス容器							○					○	○	○	○		
繰り返し使える容器での仕入れ							○					○	○	○	○		
大浴場備付けの櫛を消毒再利用							○					○	○	○	○		
10 ペットボトルを削減する業務と取組み																	
① ペットボトルを紙やアルミ製に変更																	
② ペットボトルに代わる方法を始める																	
客室飲料水に代え飲物コーナー開設							○					○	○	○	○		
従業員のマイボトル持参使用を奨励							○					○	○	○	○		
11 資源の消費量を削減する業務と取組み																	
① 消耗品の使い切りへの協力を求める																	
トイレットペーパー使切り							○					○	○		○		
ティッシュペーパー使切り又は補充式							○					○	○		○		
② ペーパーレス方式で紙消費を削減																	
お客様情報をPCやスマホで共有							○					○	○		○		
予約情報を打出さずPC等から閲覧							○					○	○		○		
客室TVやスマホで館内の案内をする							○					○	○		○		
会議や研修資料をスマホやPCで閲覧							○					○	○		○		
広告を紙方式から電子媒体に変換							○					○	○		○		
③ 使い捨て方式の変更																	
使い捨て割箸を繰り返し使うエコ箸に							○					○	○		○		
12 資源リサイクルの業務と取組み																	
① 資源をリサイクルして使用している																	
廃油を再生燃料や飼料として活用							○					○	○		○		
ペットボトルのリサイクル食器を使用							○					○	○		○		
コルク栓のリサイクルコースターを使用							○					○	○		○		
廃棄書類・段ボールの再生製品を使用							○					○	○		○		
社内雑紙再生トイレットペーパー利用							○					○	○		○		
金属資源のリサイクル							○					○	○		○		
残飯自家製糊でリネン類の糊付け							○					○	○		○		
② 古紙、アルミ缶の障がい者施設寄付																	
			○				○					○	○		○		
【良好な職場環境を目指す業務と取組み】																	
13 働きやすい職場環境づくりの業務と取組み																	
① 男女の差のない職場環境																	
男女差なく研修や資格取得を支援				○	○		○		○								
男女差のない管理職への登用				○	○		○		○								
男女差の無い同一業務同一賃金制				○	○		○		○								
② 多様な人材雇用																	
高齢者・外国人・障がい者の雇用推進							○		○								

具体的な業務・取組み内容	貧困なし	飢餓なし	健康福祉生活	生涯学習教育	男女平等	水の保全	エネルギー	経済成長雇用	強靱インフラ	国と人の平等	居住持続可能	作る使う責任	気候変動対策	海の豊かを守る	陸の豊かを守る	平和公平制度	協力協働
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
③ 生産性の向上・勤務時間短縮と休暇が取得できるよう努めている																	
生産性向上・省力化機器などを導入					○			○									
作業効率化と勤務時間短縮に努める					○			○									
介護・育児休暇や年休の計画的な取得					○			○		○							
毎月、全館休館日を設けている					○			○		○							
④ 職場の人間関係や環境の改善に努めている																	
社内表彰やお祝い制度がある					○			○		○							
従業員満足度アンケートで環境改善					○			○		○							
【地域との連携を目指す業務と取組み】																	
14 地域資源を活用する業務と取組み																	
① 地元の食材や産品、工芸品などを活用している（フードマイレージ^(注)等に配慮）																	
地元食材の料理や地酒、ジビエを提供								○	○				○				○
地域食材を地元の直売所で購入								○	○				○				○
地元産品のお土産販売								○	○				○				○
伝統工芸品を内装やホテル旅館備品に								○	○				○				○
② 地元にある様々な資源を紹介している																	
お客様に周辺食事処情報を事前案内								○	○								○
地域の舞踏、太鼓・楽器演奏を提供				○				○									○
地域の歴史・文化・芸能を紹介				○				○									○
地域の自然観察ツアーを造成				○				○	○						○		○
15 地域と連携した地域社会の発展に貢献する業務と取組み																	
① 地域や自治体の行事に参加																	
文化・祭り・清掃など地域活動へ参加				○				○				○				○	○
お客様参加の海岸掃除を実施												○			○	○	○
② 従業員の地域活動参加を支援																	
消防団活動への従業員参加を配慮												○		○			○
③ 自治体や各種団体と連携してSDGsの推進																	
クール・ウォームシェア施設 ^(注) へ登録								○				○	○	○			○
市の未来都市づくりパートナー ^(注) 登録								○				○		○			○
県ホテル旅館組合や支部組合と協働								○				○					○
【国際社会への働き掛けを目指す業務と取組み】																	
16 国際社会の発展へ寄与する業務と取組み																	
① フェアトレード促進																	
フェアトレード商品 ^(注) の購入・使用	○							○		○							○
② 外国人の人材育成支援																	
インターンシップの受入れを支援	○			○				○		○							○
【注】マイクロビーズ：石鹸や洗剤、歯磨き粉の中に含まれる「浄能力を高めるための細かいプラスチック粒のこと。浄水場の排水の網目」をすり抜け海洋汚染の原因となる。																	
3010運動：宴会などでの食べ残しをなくするため、「最初の30分と終了間際の10分間は自分の席で料理をたべる」ことを奨励する運動																	
フードマイレージ：生産地から消費地までの運搬に必要なエネルギーを「食糧重量×移動距離」で数値化したもの。大きいほど排出されるCO2。が大きくなるため、農林水産物をできるだけ近くで消費する産地消費が好ましい。																	
SDGsの未来都市：内閣府が選定した地方公共団体によるSDGs達成に向けた優れた取組を提案する都市。2018年度から2022年5月までに全国で154都市が指定され、県内では、2018年に静岡市と浜松市が、2020年に富士市と掛川市が、2021年に富士宮市が、2022年に御殿場市の計5市が選定されている。																	
クール・ウォームシェア施設：それぞれが冷房や暖房を使うのではなく、みんなでひとつの部屋や建物に集まり、涼しい空間や温かい空間をシェアすることで、エネルギー消費量を減らす県や市町の「クール・ウォームシェア」運動へ協力する施設。																	
フェアトレード商品：開発途上国の産物や製品を、輸出国である開発途上国と輸入国が対等の立場で、適正価格で公正に取引し輸入した商品																	

4 SDGsの取組みを進める上での留意点について

SDGsの推進に当たっては、取組みを持続化させるためにも、以下の点に留意して進める必要があります。

- ①社会的責任やボランティアで取組むのではなく、ビジネスをプラスし、コスト面とメリットを考慮して取組むこと
- ②簡単な取組みであっても、まずは始めること
- ③取組みを進めるペースは、ホテル・旅館の状況に合わせたものとする
- ④お客様に影響の有る事柄は、お客様の意向を伺いながら進め、現場にも掲示する
- ⑤取組んでいることをお客様に届くよう情報発信すること（「6 情報発信」を参照）

1. 社会的責任やボランティアではなく、コスト面とメリットを考慮して取組む

持続的な取組みを進めるためには、企業としての社会貢献だけでなくそれにビジネスをプラスし、コスト面とメリットからの検討が必要です。

ホテル旅館のSDGs推進に関連する業務や取組みには、費用を掛けることなく取組むことができるものもあり、また、SDGsの理念、目標、指標を参考に効率化・省エネ機器を使用することで、コスト削減につながるものも有ります。これらは取組み易く、継続しやすいものです。

①意識啓発など費用を掛けずに取組むことができる取組み

お客様のご理解やご協力を得ることにより、節電や節水のように費用削減につながるSDGsの取組みがあります。

また一式を揃えて提供していたアメニティグッズを、お客様が必要なものだけを取って行くバイキング方式にすることで、プラスチック製品の削減などが推進できる取組みもあります。

②SDGsの理念、目標、指標を参考にすることでコスト削減につながる取組み

SDGsの理念や目標、指標を参考にして、電気代や水道代の節約、燃料費の節約となる省エネ型や高効率の“機器の交換”をすることで、コスト削減につながる取組みがあります。

このような場合には、機器や部品の交換にあっては、節約できる経費に見合って複数年で計画的に交換する方法や、節約できる将来の経費を見込んで一括交換する方法もあります。

③SDGs推進するために、現状よりも経費が掛かる取組み

自然由来の製品や資源化率の高い原材料の製品に変えることや、有機栽培や自然配慮型の農産物を食材として使用することは、一般的には、現状よりも高い経費が必要とされます。

このようなSDGsの取組みは、「経費に関する一定のルールのもと、計画的にやっていく」という基本的な考えで取組みを進めて行くことを提案します。

2. 簡単な取組みであってもまずは始めること

SDGsの取組み実態アンケート調査結果では、SDGsの取組みが出来ていない理由で、最も多い回答が、「SDGs推進のリソース(人員と費用)に余裕がないから」でした。

このため、“費用を掛けなくてもできること”が有り、“専任の人材を配置しなくてもできること”がありますので、以下のような考え方で、早期に“できること”に着手し、取組み開始を情報発信することを提案します。

まずは、SDGsへの取組みを開始し、取組み範囲を次第に拡大することができれば、取組姿勢は高く評価されると思われます。

- ①費用を掛けずに取組むことができるもの、取組み易いものから始めます。
- ②目標を設定する場合には、達成可能な目標とし、途中の実績が判明した時点で、設定目標を高いものに再設定するかどうか判断すればよいと思われます。

3. 取組みを進めるペースは、ホテル・旅館の状況に合わせたものとする

SDGsの17目標の推進にあたっては、「様々な差異や進捗度がありながら、それぞれの主体が、それぞれの段階で目標に向かって進む」という考え方が、取組みを持続させるために重要です。

取組みを担う人材の状況や業務の繁閑、SDGsの取組み開始時期、社会情勢など、ホテル旅館の状況によって、推進のスピードは変わることとなります。

4. お客様に影響の有る事柄は、お客様の意向を伺いながら進め、現場にも掲示する

ホテル旅館のサービスの対象であるお客様に影響のある取組みについては、連泊のお客様の客室の掃除やリネン類の交換については、直接、お一人ひとりのお客様の希望を確実に伺ってそれを反映する形で、進めるなど、お客様のご意向を伺いながら進め、必要な修正を行う必要があります。

ビジネスホテルの例では、過半数を大きく超えるお客様が掃除を不要との意向を示す一方で、ほとんどのお客様が使用済タオル類の交換を希望していたため、客室のドアノブにタオル類を入れたトートバッグを掛けてタオル類の受渡しをすることで、客室への立入りをしないようにした例があります。

また、お客様の協力が必要な取組みを推進する場合には、節電、節水、パブリックスペースの消灯時間や大浴場の利用時間などお客様に直接影響の有る事柄については、ホームページに掲載して、事前にお客様の目に触れるようにするとともに、フロントロビーやそれぞれの現場へのポスター掲示や客室案内への明記など、お客様へ十分な周知を図るなど、お客様の気付きと自発的で自然な行動を促すため、それぞれの現場にお客様が気付き易いように表示する必要があります。

5. 取り組んでいることをお客様に届くよう情報発信すること

SDGsへの取り組みは、お客様に宿泊するホテル旅館を選んで頂く際の大きな要素となることが期待できますが、実際はやっけていても、その情報がお客様に伝わらなければ、お客様は「やっけていない」と認識されますので、様々な機会を通じて積極的な情報発信をする必要があります。

情報の発信に当たっては、誇張せずにあるのままで正しく表現することが大事です。事実に基づいた内容をお知らせすることで、お客様は、取り組みを好意的に受け止めてくれるものと思われます。

反対に、実態が伴わないのにSDGsに取り組んでいるように見せかけることは「SDGsウォッシュ」(注)と呼ばれる批判を受けることが有ります。

また、極端に困難な取り組みや高い目標を掲げた場合にも、同様の恐れがありますので、取り組み内容や目標を特に数値化して表示する場合には、実現可能性を十分に考慮する必要があります。

なお、情報発信については、「6 SDGsへ取り組んでいることの情報発信について」で詳しく記載します。

(注) SDGsウォッシュ SDGs17目標に取り組んでいるように見えて、実態が伴っていないことを批判する言葉で、「SDGs」と英語で「ごまかし」「粉飾」を表す「ホワイト・ウォッシュ(White wash)」とを組み合わせた造語

5 「SDGsへの取組み」の作成について

SDGsについては、たとえ小さな取組みでも、その取組みを持続し、拡大させることで、大きな力となり、やがては地球規模の環境をも変えていく「SDGs推進の可能性」をメッセージとして伝える必要がありますことから、取組んでいる内容について、目に見えるよう、「SDGsへの取組み」を作成し、情報発信することが大切です。

「SDGsへの取組み」に記載するホテル旅館の業務の選択

前述の「3 SDGs推進に関連するホテル旅館の業務について」の中で、既にホテル旅館で取組んでいる業務の中から、今後、継続的に取組む業務を次の点に留意して選択しましょう。

- ① ホテル旅館の将来の状況の変化も考慮して、最終目標年の2030年までの間、「継続して取組むことが可能」な業務であること。
- ② 取組みを進めることによって、成果が期待でき、その変化が明らかに把握できる業務であること。（現状や目標の値が「0（ゼロ）」であることが好ましい業務の場合には、ゼロを維持することができる業務であること。）
- ③ 実施済みの業務であっても、持続するために追加の経費やマンパワーが必要となり、継続的な取組みが阻害される場合があります。このため、目標年までの経費やマンパワーに十分な余裕のある業務や追加の経費やマンパワーが必要とならないものであること。
- ④ “取組みを継続させる” ため、従業員と意思疎通を図って取組む業務を決定する必要があります。
- ⑤ お客様の協力が必要な取組みについては、お客様の十分なお理解が得られる内容であること。
- ⑥ ホテル旅館がそれぞれの施設の事情を判断して、取組み可能な業務を選択するため、追加する業務内容は施設によって変わりますので、他のホテル旅館の例が、必ずしも判断材料とならない場合があります。

「SDGsの取組み」を記載する際の留意事項

「SDGsへの取組み」を作成する時には以下の点に留意する必要があります。

- ①お客様に取組み内容が確実に伝わり理解される必要があること
- ②ホテル旅館のSDGsへの取組みが進化していることを明示すること

①お客様に取組み内容が確実に伝わり理解される必要があること

- 「SDGsへの取組み」に記載された内容を読むだけで理解できるよう、分かりやすい言葉で表現することが大事です。このため、業界用語などお客様に分りにくい言葉を使う場合には、具体例や説明文を付けましょう。
- 達成を目指す内容が分かるように表現するため、該当するSDGs 17ゴールの番号だけを表示するのではなく、「地球環境を守るため」「プラスチックを削減するため」「水資源を確保するため」「節電を進めるため」のように目指す目的などを文章化しましょう。
- 達成目的が同じ、もしくは、似通っている業務については、まとめて表現しましょう。
- 現状と将来の目標を数値化する場合には、簡単に比較できるように表現しましょう。また、割合を表わす数値を使用する場合には、誤解がないよう対象と全体数を明確に表現しましょう。（「7 現状や目標の数値化について」を参照）

②「ホテル旅館のSDGsへの取組みが常に進化している」ことを明示すること

- いつ時点の取組み状況であるのかが分かるよう作成日を明示しましょう。
- 「業務の拡大」や「目標の再設定」が有ることを明示し、業務拡大や目標再設定がある場合は、備考欄に業務拡大日や変更前の目標値を併記しましょう。

「SDGsの取組み」の記載例

既にやっている業務については、下記の例を参考に、お客様にお知らせしましょう。

【柱ごとに幾つかの取組み業務がある場合の記載例】

【当ホテル(旅館)のSDGsの取組み】

(2023年4月1日)

当ホテル(旅館)では、SDGsのため次の取組みを進めています。

1. ご利用されるお客様の安全・安心を目指した取組み

- お客様のご協力を頂き、新型コロナ対策を含む感染症対策を徹底しています。
- 全ての人を使いやすいようバリアフリーの施設にしています。
- 災害や交通途絶などの非常時に備え、食料と飲料水を確保しています。

2. 地球環境を守ることを目指した取組み

- プラスチック削減のため、必要なものを選ぶアメニティバイキングにしました。
- 使用電力削減のため、LED電球への切替えを進めています。
- 連泊のお客様に、客室掃除とリネン交換のご希望を伺っています。

3. 働きやすい職場環境づくりを目指した取組み

- 育児や介護のための休暇と計画的な年休取得ができる職場環境です。
- 毎年、従業員満足度アンケートを実施し、職場環境を改善しています。

4. 地域資源の活用で地域の発展を目指した取組み

- 地場の食材や原材料を活用して料理を提供しています。
- 地元の文化・歴史・自然などの観光地巡りを提案しています。
- 県内産の地酒や土産物を提供しています。

5. 国際社会の発展に貢献することを目指した取組み

- インターンシップを希望する留学生に職業体験の場を提供しています。

ホテル旅館の業務の体系ごとにまとめて表現する方が分かりやすい。

ホテル旅館の業務のうちSDGsに関連する業務を、目的に着目して、5つの柱、16の項目に分類し、該当するSDGs目標を示した「宿泊業の具体的な業務・取組みが貢献するSDGs目標の一覧」(P11-14)を作成しました。

この一覧にある業務は、SDGsの推進に貢献していますので、該当する業務がある場合には、上の記載例のように、お客様にお知らせしましょう。

幾つかの業務を、柱ごとに、まとめて記載すると分かりやすくなります。

【取組み業務の数が少ない場合の記載例】

なお、それぞれの柱ごとにまとめるだけの取組みが無い場合には、次のように「○○○○するため、△△△△△を進めています。」と表現する方法もあります。

【当ホテル(旅館)のSGDsの取組み】

(2023年4月1日)

当ホテル(旅館)では、SDGsのため次の取組みを進めています。

- 地球環境を守るため、プラスチック製品を竹製やリサイクル率の高いアルミ製の製品に変えています。
- 地域と連携し地域の発展を目指して、地元の伝統工芸品を装飾品や備品に使っています。
- 宿泊されるお客様に安全・快適に過ごして頂くため、お客様のご協力を頂いて、新型コロナウイルス対策をはじめとする感染症への対策を徹底しています。

【新たな取組みを開始する場合の記載例】

新たに始める業務についても、「継続できる」と判断したものは、これから開始するという意味を込めて、次のように表現することができます。

【当ホテル(旅館)のSGDsの取組み】

(2023年4月1日)

当ホテル(旅館)では、SDGsのため次の取組みを進めています。

- 水資源の保全のため、計画的に自動水栓に切り替えていきます。
- エネルギー消費を削減する為、2030年には、LED電球を100%にします。

SDGs 取組み業務の拡大

SDGsの情報発信を開始した後に、取組み可能な業務を追加する判断をした場合には、前述の「SDGsへの取組み」に記載する業務内容を「ホテル旅館の業務の選択」及び「記載する際の留意事項」と同様の以下の手順で追加します。

- ①「宿泊業の具体的な業務・取組みが貢献するSDGs目標の一覧」から追加の業務を選択します。
- ②業務選択に当たっては、経費がかかるかどうか、経費削減や効率アップが期待できるかどうかを参考にして、選択する必要があります。
- ③目標年の2030年まで、経費やマンパワーの要素を含め、継続して取組むことが可能であることを確認します。

【取組み業務の拡大に際しての留意事項】

まだ実施していない業務に取組む場合、「経費が掛らないもの」や「経費削減や効率アップの効果が期待できるもの」の方が、取組み易いと思われます。

経費の有無や削減効果や効率の視点から次のように業務内容を区分しました。

- ①「経費の掛からない業務
- ②SDGsの理念や目標・指標を参考にして経費削減や効率アップできる業務
- ③経費の削減や効率化に関係の薄い業務・取組み

【参考：経費・コストの有無による取組み業務の区分】

1. 費用の掛からない業務	
お客様のご理解やご協力を得ることにより、経費を掛けずにSDGsを推進できる取組み	
①意識啓発により「やめる」または「少なくする」ことが、SDGs推進につながる取組み	▷公共交通機関の利用や乗り合わせによる移動の呼びかけ ▷節電や節水の協力、冷暖房の設定温度を守る呼びかけ ▷髭剃り機、櫛、歯ブラシの持参呼掛け、アメニティバイキング方式 ▷大皿から食べ残しのない量の料理を取るようお客様に要請する
②お客様にご理解とご協力をいただくことがSDGs推進につながる取組み	▷連泊の場合、お客様の希望で掃除やリネン類の交換を省略する ▷ロビーなど共用スペースにある照明のうち点灯するものを減らす ▷売店や大浴場などの営業時間を短縮する ▷トイレトペーパーやティッシュペーパーを最後まで使う

<p>③従業員の理解を得て、サービス提供の方法を変える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▷大皿バイキング方式をセットメニューや小皿提供方式へ変更する ▷地元産食材を活用した料理やお土産物を提供する ▷地域のイベントや祭事へ参加する
<p>④地域資源の存在をお客様にお知らせする取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▷地域の歴史・文化史跡や特徴のある自然を紹介する ▷自然観察ツアーや歴史・文化探訪ツアーを提案する ▷周辺のレストラン情報を提供する
<p>2. SDGsの理念、目標、指標を参考にして経費削減や効率アップできる業務</p> <p>電気代や水道代の節約、燃料費の節約となる省エネ型、高効率の“機器への交換”により、SDGsを推進する取組みで、節約できる経費に見合っって複数年で計画的に機器を交換する方法や、節約できる将来経費の総額を見込んで一括交換することで推進できる取組み</p>	
<p>①効率的な機器や自動的にON-OFFする機器を利用することで使用量を削減する取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▷節水型のトイレやシャワーヘッド、自動水栓などで使用水量を削減 ▷LED照明や人感センサーの自動点消灯機器等で使用電力量を削減 ▷省エネタイプの空調機に変えることで使用電力量を削減 ▷高効率・省エネ型のボイラーや給湯器に変えて使用燃料を削減 ▷断熱効果の高い壁材やサッシで、冷暖房費を削減
<p>②個々ニーズ対応方式から、選択方式や多人数使用方式に変更</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▷アメニティグッズは、必要な物を持っていくバイキング方式にする ▷シャンプー、ボディソープ類を個別からプッシュボトルに変える ▷客室のペットボトルに変え共用ロビーにウォーターサーバー設置
<p>③従業員の資質や意欲を向上させる業務</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▷資格取得や研修受講費用の補助、社内表彰制度の創設 ▷男女平等の管理職登用や男女差のない職種別賃金の導入 ▷効率化ICT機器の導入 ▷計画的年休取得の推進、従業員へのアンケート実施で職場改善
<p>3. 経費の削減や効率化に関係の薄い業務</p> <p>価格優位な原材料製品を、環境に優しい自然由来の製品や資源化率の高い原材料の製品、また、国際社会発展に寄与する製品に変える取組みや働きやすい職場づくりの新たな仕組みや制度を創設することでSDGsを推進する取組みは、計画的な推進が必要とされます。</p> <p>「経常利益の一定割合」や「他のSDGsの取組みで削減された経費の範囲内」で計画的に進めるルールを作ることが継続的な取組みを可能とするものと思われます。</p>	
<p>①従来の製品から環境配慮や国際社会の発展に貢献・寄与できる代替の製品を使用する取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▷プラスチック製の歯ブラシ、スプーン、フォーク、ストローを紙や竹、陶器などの素材に変える ▷飲料のペットボトルをアルミ製容器に変える ▷ゴミ袋やシャワーキャップを植物由来の製品に変える ▷リネン類を有機原材料製に変える ▷有機栽培の農産物を使う ▷国際社会発展に協力するフェアトレード商品を購入・使用する

6 SDGsへ取り組んでいることの情報発信について

SDGsへの取組みは、前述のように「新規事業の創出」や「企業のイメージアップ」「サービスに付加価値が加わる」などのメリットが有り、ホテル旅館にとっては、提供するサービスやおもてなしをお客様が選択する際の大きな要素となることが期待できます。

このため、SDGsに取り組んでいるホテル旅館であることが、お客様に届くよう、次のように様々な機会を活用して、様々な方法で情報発信する必要があります。

- ①情報発信する際に留意する事項
- ②「SDGsへの取組み」などワンペーパーにして情報発信する
- ③お客様の協力が必要な取組みは、その時、その場面で周知する
- ④県組合のホームページと連携して情報発信する

①情報発信する際に留意する事項

- 実際はやっても、その情報がお客様に伝わらなければ、お客様には「やっていない！」と認識されます。
- 情報の発信に当たっては、誇張せずにありのままで正しく表現することが大事です。事実に基づいて以下の内容を表現することで、お客様は、取組み内容を好意的に受け止めてくれるものと思われれます。
反対に、実態が伴わないのにSDGsに取り組んでいるように見せかけることは「SDGsウォッシュ」との批判を受けることが有ります。

②「SDGsへの取組み」などのワンペーパーを活用して情報発信する

お客様の目に触れやすいように情報発信する必要があります。

- 「SDGsへの取組み」をホテル旅館のホームページに掲載する。

宿泊先を検討する際に、ホテル旅館のホームページを閲覧する割合が、大きくなっており、ホームページ上に「SDGsの取組み」との表示があることで、お客様は、「このホテル旅館はSDGsの課題に向き合っている」と認識し、ホテル旅館に対する“好感度”は、大きく向上すると思われれます。

その際、ホテル旅館のホームページのトップページにある「SDGsへの取組み」の項目から、取組み内容がすぐに見られることが大事であり、見るまでの操作回数が少ないほど、お客様の好感度は上昇すると思われれます。（「ワン・クリック」や「スクロール」で見られることが好ましい。）

- 「SDGsへの取組み」をフロントや客室、お客様の目につく場所に掲示する

SDGs推進に関連する取組みの中には、お客様のご理解とご協力が必要なものが数多くあることから、ホテル旅館がSDGsに取り組んでいることが“さりげなく”、“当たりまえのように”目に入るということが大事になります。

このため、お客様がホテル旅館に到着された時をはじめ、フロントでのチェックイン手続き時、エレベーターの待ち時間、客室へ初めて入る時など、お客様の導線を考慮して、「SDGsへの取組み」を掲示することが大事です。

③お客様の協力が必要な取組みは、その時、その場面で周知する

お客様の協力が必要なSDGsの取組みを推進する場合には、お客様の気付きと自発的で自然な行動を促すため、以下のように、それぞれの現場に気付き易いように表示する必要があります。

- スイッチ・リモコンの隣に「節電」や「省エネ」のお願いを表示する。
- 共用スペースの出入口に「節電実施中」の表示をする。
- 連泊のお客様の客室のリネン類の置き場に「交換不要」とのご意向表示をするお願いのペーパー（兼意思表示様式）を置く。
- 連泊のお客さまについては、次のような表示や対応をする。
 - 部屋掃除やリネン交換の要・不要を伺うため、趣旨の説明と意思表示用の「お願い兼意思表示ペーパー」を、ドア付近とリネン棚などに置く。
 - 掃除不用でも、リネン交換を希望する場合には、リネン類は、トートバッグなど入れ、ドアノブに掛けていただくよう依頼する。

④県組合のホームページとの連携による情報発信

県組合のホームページには、組合員のホテル旅館のホームページとリンクしているため、次のような取組みをすることで、個々のホテル旅館のSDGs推進の取組みの情報発信を支援します。

- 県組合の次のような取組み内容を表示します。
 - 組合加入のホテル旅館に「SDGsへの取組み推進」を呼び掛けていること
 - 個々のホテル旅館の「SDGs取組み中」を表示すること
 - 組合員の「SDGs取組み中」の割合の拡大に取り組んでいること
- 県組合として、上記内容を含む「SDGsへの取組み」を作成し県組合のホームページに掲載します。

7 現状や目標の数値化について

「SDGsへの取組み」に取り上げる業務内容について、現在の取組み状況や目標値を数値で示すことができれば、取組みの進捗度や成果の変化が誰にでも分かりやすく理解できるようになります。

数値化する際の留意事項

数値化した場合には、途中での進捗度合いや目標の達成見通しが常に注目されることとなるので、目標の実現可能性や進捗が遅れる場合のリスクを考慮した上で数値化するかどうかを判断する必要があります。

現状を数値化する場合に、現在の状況を数量や割合で直接示すことができる業務と直接数値化できないものがありますが、直接数値化できないものは、「質」に対する主観的な評価の内容やクレームの発生数のほか、否定的な評価内容の件数や対応状況を数値化して表現する方法があります。

【業務種別ごとの数値化】

①数量や割合で直接示すことができる業務の表示方法

- 該当実数や個所数、一定期間内の数、全体数に対する割合
- 好ましくない事例の場合は、「発生件数ゼロの継続」など
- イベントや訓練・行事は、実施回数や参加者人数、対全体の割合

業務の区分	表示する方法(例示)
感染対策	発生患者数0(ゼロ)を維持
安全対策・バリアフリー	対策実施個所数、全体カバー割合、事故発生件数0(ゼロ)
サービス(量で表現)	提供メニューやコースの種類や選択肢の数
避難訓練などイベント	実施回数、参加割合
備蓄している品	備蓄日数、目標達成割合・カバー率
施設、設備、備品	個数や設置箇所数、設置割合
調度品・食器・客室リネン類・アメニティなど	環境配慮製品の使用量・品数割合 環境に悪い製品の使用量・品数割合
お客様への協力要請	ご協力頂いたお客様の人数や割合
フードロス削減	発生量削減(基準年比較、重量割合)
エネルギー削減	電気・水道・ガス使用量の削減割合
研修受講、資格取得	制度を利用した従業員の人数・割合
従業員年休取得状況	年休消化率
地元食材利用	地産地消の割合(品目数・材料割合)
地域の歴史・文化活用	歴史・文化ツアーの提案本数
地域行事への貢献	参加行事数・参加者の人数や割合
フェアトレード商品	備品や調度品の購入金額

②直接数値化できない業務の表示方法

- サービスの質：お客様満足度（アンケートや評価の平均点）
お客様の不満足度（クレーム数の変化）
対応の本気度（短期間に対応したクレーム割合）
- 働きやすい職場：従業員の満足度

業務の区分	表示する方法(例示)
サービス(質で表現)	お客様の評価点の平均や苦情件数
働きやすい職場環境	従業員アンケートの評価平均点の向上

【推進業務の将来の目標値の設定】

現状を数値化した場合、目標年次の目標値を設定します。

①目標年次の設定について

- SDGsの目標年次である2030年を目標年に設定します。
- 2030年が7年後と長期になることから、途中の3年後、5年後にも目標年を設け、目標の到達度をチェックします。

②目標値の設定について

- 目標値については、現状を踏まえて、到達可能な目標を設定します。
- 具体的な目標設定に当たっては、途中年（例：3年後、5年後）の実現可能な目標とともに、目標年の2030年の目標を可能な範囲で数値化します
- なお、これまで手掛けてこなかったことを実施する場合には、「途中年の目標」として、「開始する」という表現の目標の記述も可とします。

③目標年次と目標値の変更について

- 進捗状況が順調な場合、最終目標の目標値を高く再設定するか、到達年次を早めましょう。
- 目標達成が困難になった場合には、途中経緯を明示するとともに、原因を表示する必要があります。

数値化した「SDGsへの取組み」の記載例

【業務の柱ごとに幾つかの取組み業務がある場合の記載例】

【〇〇〇〇ホテル(旅館) SDGsへの取組み】

2023年4月1日

当ホテル(旅館)では、現在、次の項目のSDGsを推進しています。

まだまだ小さな取組みですが、これを持続し拡大することで地球環境を救う大きな力となるものと信じております。

今後、取組み項目を拡大してまいりますのでお客様のご理解とご協力、ご支援を何卒お願い致します。

1. ご利用されるお客様の安全・安心のため、次の取組みを行っています。

取 組 み 内 容	現 状	3年後	5年後	2030
新型コロナを含む感染症対策(発症者)	0	0	0	0
非常時の食料と飲料水を確保しています(確保数)	5日分	7日分	7日分	10日分

2. 地球環境を守るため、次の取組みを行っています。

取 組 み 内 容	現 状	3年後	5年後	2030
節水型のシャワーヘッドを増やしています(全200)	10%	30%	50%	100%
LED照明への切替えを進めています(全500)	25%	50%	100%	100%
連泊されるお客様には、客室掃除のご希望とリネン交換のご希望を伺います。(希望を伺う割合)	100%	100%	100%	100%
必要なアメニティグッズをアメニティコーナーから持って行っていただく方式にしました。(全12種)	100%	100%	100%	100%

3. 働きやすい職場環境づくりのために、次の取組みを行っています。

取 組 み 内 容	現 状	3年後	5年後	2030
毎年、従業員満足度アンケートを実施し、職場環境を改善しています。(5点満点の平均評価点)	3.5	3.7	3.9	4.0
男女・年齢・国籍差なく資格取得費用を支援しています。(支援を受けた従業員の割合全70人中)	30%	50%	80%	100%

4. 地域発展のため、地域にある資源の活用と地域社会と協力・協働して次の取組みを行っています。

取 組 み 内 容	現 状	3年後	5年後	2030
地場の食材の利用率(材料数約50品目中)	40%	60%	80%	100%
地元の文化・歴史・自然・観光ツアー提案(ツアー数)	2	5	10	15
県内の地酒を提供しています(酒蔵数：全27)	5	10	15	27

※当ホテル旅館では、以前から取り組んでいた業務の交通整理を行って、一部を抽出し、今回、「SDGsの取組み」について初めて目標設定を行いました。(第1弾) 今後は、当ホテル旅館のSDGsの様々な取組みを順次、ご紹介するとともに、さらに高い水準の目標を設定して取り組んでまいりますので、よろしく申し上げます。

【〇〇〇〇ホテル(旅館)SGDsへの取組み】

2023年4月1日

当ホテル(旅館)では、現在、次の項目のSDGsを推進しています。

まだまだ小さな取組みですが、これを持続し拡大することで地球環境を救う大きな力となるものと信じております。

今後、取組み項目をさらに拡大してまいりますので、お客様の
ご理解とご協力、ご支援を何卒お願い致します。

1. 「LED照明」と「節水型のシャワーヘッド」を使うことで、節電と水の保全により地球環境を守る取組みを進めています。

取 組 み 内 容	現 状	3年後	5年後	2030
LED照明へ交換した割合(全500中)	10%	30%	50%	100%
節水型シャワーヘッドの使用割合(全200中)	25%	50%	100%	100%

2. 地場の新鮮な採れたて食材と地酒で、お客様をおもてなししています。

取 組 み 内 容	現 状	3年後	5年後	2030
地元食材の利用率(約50品目中)	40%	60%	80%	100%
地酒の提供数(提供酒蔵 全27中)	5	10	15	27

3. 働く人が年休を全て取れる良好な職場環境づくりを目指しています。

取 組 み 内 容	現 状	3年後	5年後	2030
繰越せない年休が0(ゼロ)の従業員の割合	50%	70%	90%	100%

※当ホテル旅館では、以前から取組んでいた業務の交通整理を行って、一部を抽出し、今回、「SDGsの取組み」について初めて目標設定を行いました。(第1弾) 今後は、当ホテル旅館のSDGsの様々な取組みを順次、ご紹介するとともに、さらに高い水準の目標を設定して取組んでまいりますので、よろしく申し上げます。

8 困難業務の達成を目指す「SDGsへの取組み」について

SDGs推進の「資金調達における優位性」のメリットである「民間のESG投資(注1)」の受皿となるためには、インパクトのあるSDGs目標への取組みが効果的であるといわれています。

このため、日本企業で極めて達成率が低いとされているSDGs目標(注2)に対して、自ら“高い目標を掲げて果敢に挑戦する”場合や、幅広い他企業や他者にSDGsの取組みを促す影響力の高い手法に取組む場合などが該当すると思われまます。

〈取組み内容と目標設定の具体〉

①男女の賃金格差や昇任格差、管理職数相違の完全解消などの「ジェンダー」に関連した目標の推進

(目標設定の例) 働きやすい職場環境づくりのための取組み

取 組 み 内 容	現 状	3年後	5年後	2030
男女差のない管理職登用 (管理職の男：女の比)	2：1	3：2	1：1	1：1
男女・年齢・国籍差のない業種別賃金の採用 (適用する従業員の割合 全70人中)	50%	80%	100%	100%

②環境問題解決のため、効果的な新手法を他企業へ拡大させ、課題解決を大きく前進させるような取組み

- ▷日本で遅れているSDGs目標に積極的に取組む企業へのホテル旅館利用の優遇制度を作る
- ▷地域の環境課題解決に向けた活動参加者を大きく増加させる
- ▷SDGs担い手のとなる小中高生を対象とした「SDGsを推進するホテル旅館の体験ツアー」を実施する

(目標設定の例) 地球環境を守るための取組み

取 組 み 内 容	現 状	3年後	5年後	2030
SDGs取組み企業への宿泊料割引(2割引) (年間適用件数)	0	100	300	500
毎月の海岸清掃活動への参加者への宿泊割引実施 (月間適用件数)	0	10	30	50
中高生対象のSDGs体験宿泊の実施 (年間参加者数)	0	10	30	50

(注1) ESG: 環境(Enviroment)、社会(social)、企業統治(governance)

(注2) 日本のスコア減少SDGs目標：5ジェンダー、12作る責任使う責任、13気候変動、14海の豊さ、15陸の豊さ、17パートナーシップ

【次年度課題】

9 地域と連携したSDGsの推進について

今年度は、個々のホテル旅館が「SDGsへの取組み」を作成し情報発信できるようガイドブックを作成しました。

第2年度については、SDGsへの取組みが、文字通り“持続可能”となるよう、次の3点を促進する具体的な方法について検討します。

①個々のホテル旅館のSDGs推進を着実とするよう後押しする

第1年度に取り組んでいるSDGsの効果的な推進方法や取組み業務の拡大、設置目標を高く設定する方法など、第一年度のフォローを行います。

②個々のホテル旅館が地域と連携する具体例を示す

地域の共通課題となっている事項に、個々のホテル旅館が支部組合やそれぞれの地域・行政と連携して取り組むことで、経済成長や環境保護など、地域の持続的発展に寄与する地域連携の具体例などを示します。

③地域課題や担い手育成などの課題解決に向けた連携を支援する

次の課題解決に向けた地域との連携への取組みが強化されるよう支援します。

- 地域課題の解決を通じたSDG推進
- 担い手の育成(フィールドワーク)につながるSDGs推進
- 地域資源の活用による地域の経済連携によるSDGs推進

【参考】

〈地域課題の解決を通じたSDGs推進〉

WGの意見

- 地域を象徴するものをテーマに、“地域課題”を作ってSDGsのうち、特に環境影響に関する課題を地域ごと明示して推進していくのも、静岡県の特徴が出て、良いと思う。
- 富士山の周辺では、「富士山の豊富な地下水の保全」や「産業廃棄物」、「鹿対策」などがあり、磐田市では、“桶ヶ谷沼の鼈甲(べっこう)トンボ”の保全などが課題になる。
- 優れた海・山・湖などの自然資源、伝統芸能・祭、さらには神社仏閣、博物館などの文化資源は、本来は観光のための資源ではないが、観光資源にもなっている。
- 観光産業の企業が、これらの地域資源の維持保全・充実のための活動を直接行うことは、環境保全や文化継承など社会のメリットになると共に観光産業にもメリットになるもので、観光産業ならではのSDGsの活動となる。

参 考 资 料

【参考：SDGs17の各目標に該当するホテル旅館の業務や取組み】

SDGsの17目標	目標に該当するホテル旅館の業務や取組みの内容
①貧困をなくす	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残余食材で「子ども食堂」を運営 ・ 賞味期限が近い食材をフードバンクに寄付する ・ フェアトレード製品を使う。 ・ インターンシップの受入れを支援
②飢餓をなくす	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残余食材で「子ども食堂」を運営 ・ 賞味期限が近い食材をフードバンクに寄付する
③全ての人に健康と福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症対策や受動喫煙対策 ・ バリアフリーな施設・設備とお客様対応 ・ 食事や温泉などによる癒しを提供 ・ 健康に配慮した運動を提案 ・ 回収古紙を障がい者施設に提供
④質の高い教育をみんなに	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従業員の資格の取得や研修受講を支援する。 ・ お客様に、地域の踊り・楽器演奏の機会を提供する。 ・ お客様に地域の歴史・文化・芸能を紹介する。 ・ 地域の自然観察ツアーを造成し提案する。 ・ 従業員に、地域の祭り、文化活動への参加を促す。 ・ 学生のインターンシップの受入れや研修を支援する。
⑤ジェンダー平等を実現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理職への登用や研修受講への支援など男女差のない職場環境づくり ・ 介護休暇や育児休暇が取得しやすい職場環境づくり
⑥安全な水とトイレを世界中に	<ul style="list-style-type: none"> ・ 節水型の機器やシステム等を使う(シャワーヘッド、節水栓、トイレ、自動水栓、循環水方式) ・ 節水への協力を呼び掛ける。 ・ 雨水や井戸水を散水や植木の水やりに使う。
⑦エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然エネルギーや再生エネルギーを利用する。 ・ 節電協力の呼びかけや省エネ機器で節電(LED照明、人感センサー、エアコン) ・ 省エネ協力の呼びかけや省エネ機器利用で燃料削減(エコカー・電気自動車、公共交通機関、自転車や電動アシスト自転車、高効率ボイラー) ・ 資源のリサイクル
⑧働きがいも経済成長も	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働きやすい職場(休暇取得しやすい、従業員表彰制度、多様な人材雇用、職場の改善) ・ 事務や業務の生産性向上を図っている。
⑨産業と技術革新の基礎を作ろう(強靱インフラ整備)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再生エネルギー利用、消費する電力やエネルギー量の削減 ・ 災害時の避難施設、住民の非常時の避難先に指定 ・ 自治体との災害支援協定(要援護者の受入れ)
⑩人や国の不平等をなくす	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者や高齢者、乳幼児とその母も利用しやすいバリアフリーの設備や対応 ・ 複数言語でのお客様対応をしている。 ・ 多様な人材を雇用している。 ・ 平等な管理職登用や業務研修受講への平等な支援 ・ フェアトレード商品を購入・使用している。
⑪住み続けられるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害に備えた機器の整備や備蓄、定期的な訓練をしている。 ・ 災害時に地域や自治体と協力する協定を結んでいる。

SDGsの17目標	目標に該当するホテル旅館の業務や取組みの内容
⑫つくる責任 つかう責任	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の取組み、節電の取組み、省資源省エネの取組み、フードロス削減の取組み ・プラスチック製品の削減やペットボトルの廃止、資源の消費量削減やリサイクル ・消耗品を使い切る(トイレトーパー、ティッシュペーパー) ・ペーパーレス方式を採用(会議資料、紙に代えて) ・地場の食材を提供し、地元産品のお土産を販売する。 ・フードロスを出さない(提供量小分け、バイキング方式やめ、3010運動、子ども食堂)
⑬気候変動に具体的な対策を	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の取組み、節電の取組み、省資源省エネの取組み、フードロス削減の取組み ・プラスチック製品の削減やペットボトルの廃止、資源の消費量削減やリサイクル ・消耗品を使い切る(トイレトーパー、ティッシュペーパー) ・ペーパーレス方式を採用(会議資料、紙に代えて) ・地場の食材を提供し、地元産品のお土産を販売する。 ・フードロスを出さない(提供量小分け、バイキング方式をやめる、3010運動、子ども食堂)
⑭海の豊かさを 守ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の取組み、節電の取組み、省資源省エネの取組み、フードロス削減の取組み ・プラスチック製品の削減やペットボトルの廃止、資源の消費量削減やリサイクル ・消耗品を使い切る(トイレトーパー、ティッシュペーパー) ・ペーパーレス方式を採用(会議資料、紙に代えて) ・地場の食材を提供し、地元産品のお土産を販売する。 ・フードロスを出さない(提供量小分け、バイキング方式をやめる、3010運動、子ども食堂)
⑮陸の豊かさも 守ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の取組み、節電の取組み、省資源省エネの取組み、フードロス削減の取組み ・プラスチック製品の削減やペットボトルの廃止、資源の消費量削減やリサイクル ・消耗品を使い切る(トイレトーパー、ティッシュペーパー) ・ペーパーレス方式を採用(会議資料、紙に代えて) ・地域の自然観察ツアーを造成し・紹介している。 ・フードロスを出さない(提供量小分け、バイキング方式をやめる、3010運動、子ども食堂)
⑯平和と公平を すべての人に	<ul style="list-style-type: none"> ・フェアトレード商品を購入・使用する。 ・学生のインターンシップの受入れや研修を支援する。
⑰パートナーシップ で目標達成	<ul style="list-style-type: none"> ・地場の食材で料理を提供し、地元産品のお土産を販売する。 ・周辺の観光やグルメ情報を提供する。 ・地域の歴史・文化・芸能を紹介し、体験する機会を設ける。 ・地域の自然観察ツアーを造成し・紹介する。 ・従業員に、地域の祭り、文化活動へ参加を促す。 ・フェアトレード商品を購入・使用する。

SDGsへの取組み実態のアンケート調査結果の概要

①アンケートの実施

令和4年7月17日に県ホテル旅館生活衛生同業組合の組合員654者にアンケート調査への協力をお願いした。（回答期限8月19日（火））

②対象者数と回答数

9月20日までの回収状況は以下の通りで、調査への回答率は、21.6%であった。

発送数	654通		
返信数	148通	内有効数	141（重複回答7通）
回答率			(21.6%)

③回答者の施設の種別

問1-1 施設の種

回答のあった施設は、旅館が70施設で全体の半数の49.6%、ホテルが59施設で全体の41.8%、その他が12施設で全体の8.5%であった。

旅館のうち、観光旅館が54施設で一番多く、全体の4割弱の38.3%あり、次いで、割烹旅館が10施設で全体の7.1%、ビジネス旅館が6施設で全体の4.3%であった。

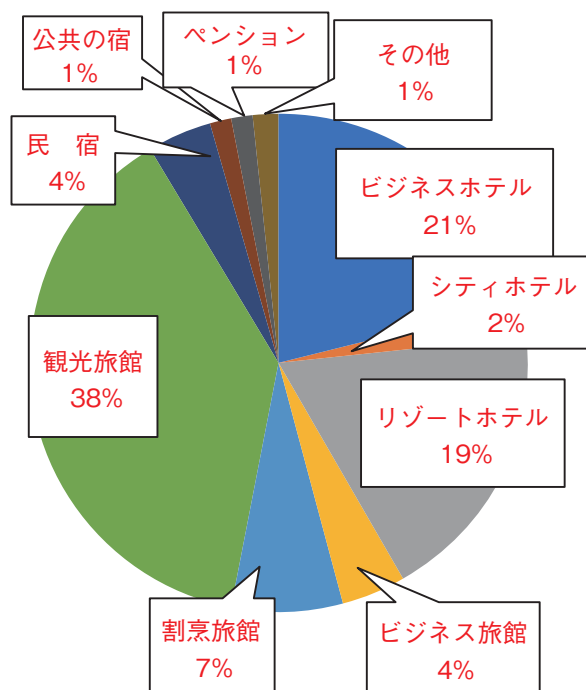
ホテルのうち、ビジネスホテルが30施設で、全体の21.3%、リゾートホテルが26施設で全体の18.4%、シティホテルが3施設で全体の2.1%であった。

その他については、民宿が6施設で全体の4.3%、公共の宿とペンションとその他（研修施設）がともに2施設で全体の1.4%であった。

アンケートへの回答のあった施設

〈施設の形態〉

施設区分	施設数	割合(%)
ビジネスホテル	30	21.3
シティホテル	3	2.1
リゾートホテル	26	18.4
ビジネス旅館	6	4.3
割烹旅館	10	7.1
観光旅館	54	38.3
民宿	6	4.3
公共の宿	2	1.4
ペンション	2	1.4
その他	2	1.4
	141	100.0



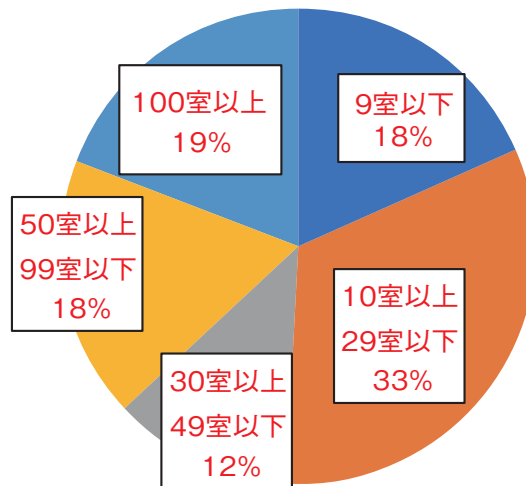
問1-2 総客室

回答者を部屋数の規模で見ると、「10室から29室」の施設が全体の約3割の46施設（32.6%）を占め、「100室以上」と「9室以下」と「50室から99室」の施設の施設がそれぞれ2割弱の、27施設（19.1%）、26（18.4%）、25施設（17.7%）となっている。

そして、「30室以上49室以下」が1割強の17施設（12.1%）となっている。

〈規模(部屋数)〉

部屋数	施設数	割合(%)
9室以下	26	18.4
10室以上29室以下	46	32.6
30室以上49室以下	17	12.1
50室以上99室以下	25	17.7
100室以上	27	19.1
	141	100.0



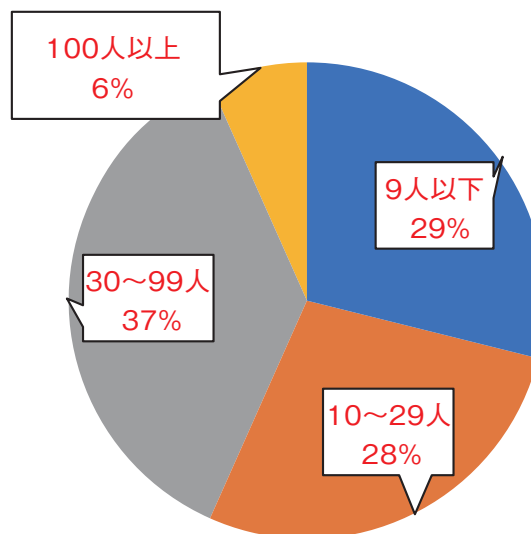
問1-3 従業員数(非常勤・パートも含む)

非常勤・パートを含めた従業員数の規模については、「30人から99人」が3の1強の52施設（36.9%）であり、「9人以下」が41施設（29.1%）、「10人から29人」が39施設（27.7%）といずれも3割弱であった。

また、「100人以上」の大規模施設が9施設（6.4%）であった。

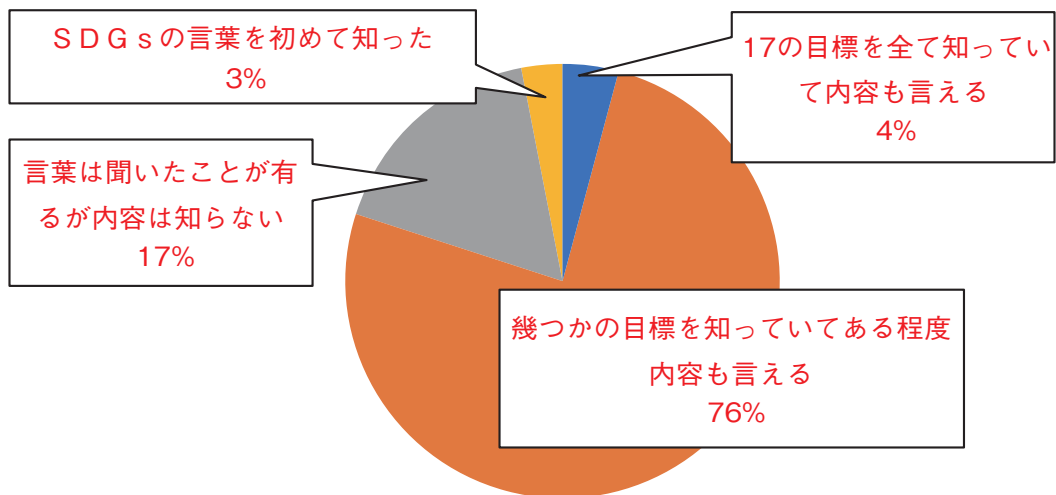
〈規模(従業員数)〉

人数	施設数	割合(%)
9人以下	41	29.1
10~29人	39	27.7
30~99人	52	36.9
100人以上	9	6.4
	141	100.0



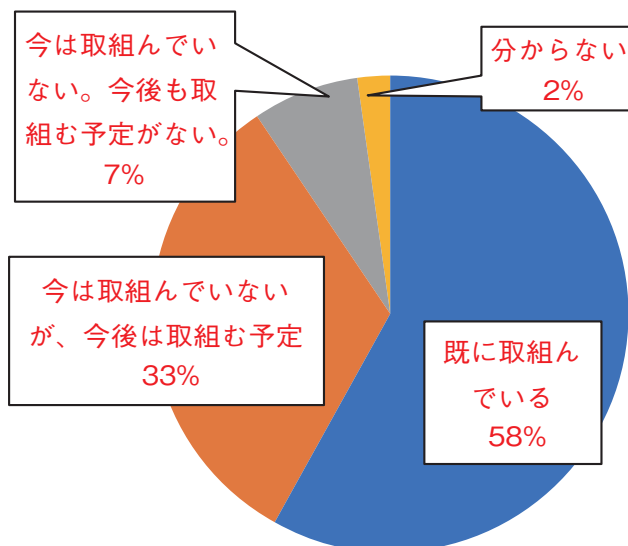
問2-1 SDGsについて知っていますか

人 数	施設数	割合 (%)
17の目標を全て知っていて内容も言える	6	4.3
幾つかの目標を知っていてある程度内容も言える	107	75.9
言葉は聞いたことが有るが内容は知らない	24	17.0
SDGsの言葉を初めて知った	4	2.8
計	141	100.0



問2-2 SDGsについて何か取組んでいますか

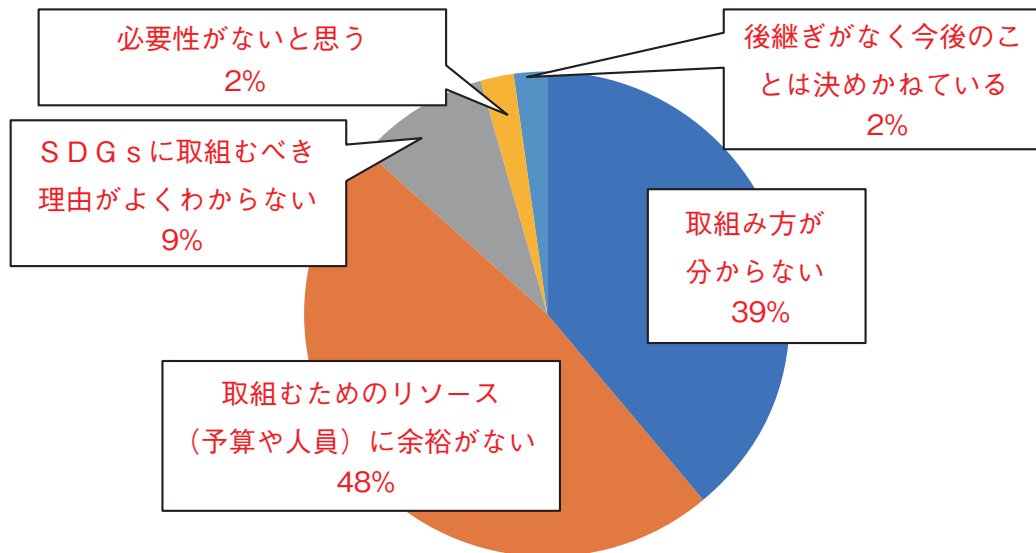
人 数	施設数	割合 (%)
既に取り組んでいる	82	58.2
今は取組んでいないが、今後は取組む予定	46	32.6
今は取組んでいない。今後も取組む予定がない。	10	7.1
分からない	3	2.1
計	141	100.0



問2-3 問2-2で取組んでいないと回答した方に伺います。

SDGsについて取組まない理由は何ですか？

人 数	施設数	割合(%)
取組み方が分からない	18	39.1
取組むためのリソース(予算や人員)に余裕がない	22	47.8
SDGsに取組むべき理由がよくわからない	4	8.7
必要性がないと思う	1	2.2
後継ぎがなく今後のことは決めかねている	1	2.2
計	141	100.0



以下の回答における【その他】欄の記載内容について

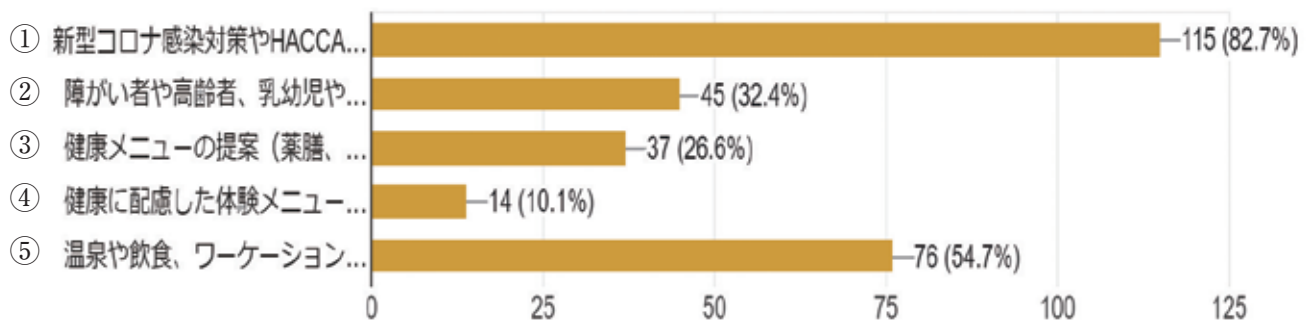
※黒字○数字については、該当する項目番号を示し赤字○数字については、項目を追加した。

※問○へ 及び 問○より の記載は、他項目との項目間の移動を示す。

【問3-1 お客様の健康と安全安心に配慮した取組み】

(全員に伺います) 貴施設で実施している取組があればお答えください。複数回答可

139件の回答



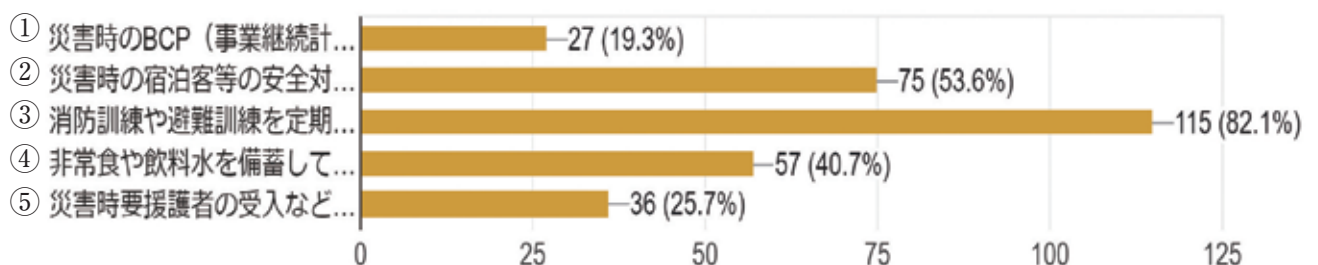
- 【その他】
- 車いす対応 ②
 - 自家梅園でのプチモーニングキャンプ企画他 ④
 - フロントの24時間対応(夜遅くなくても安心) ⑥
 - 健康維持のため、健康イオン水の導入 ⑦

問3-13より HPにおいて複数言語でガイドをしている ⑧

【問3-2 災害への備えに関する取組み】

(全員に伺います) 貴施設で実施している取組みがあればお答えください。複数回答可

140件の回答



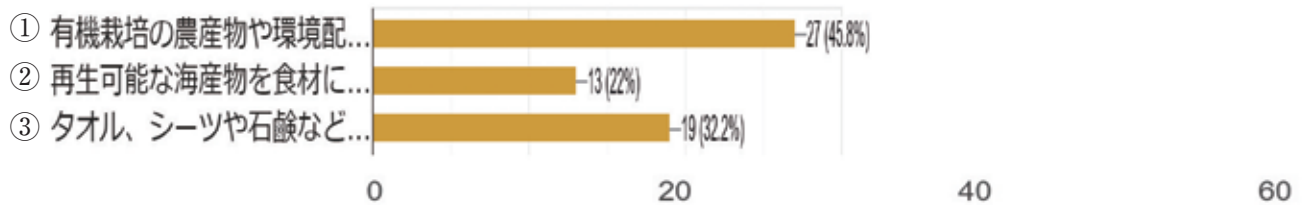
- 【その他】
- 緊急時支援のための人員配置を考えている ①②
 - 非常時の宿泊予備室を備えている ①②
 - 災害時用非常備品BOXを備えている ②
 - お部屋に防災グッズを設置している ②

問3-13より 津波避難ビルに指定されている ⑥

問3-13より 非常時の受入れを近隣自治会から依頼されている ⑦

【問3-3 環境負荷の少ない原材料を使う取組み】

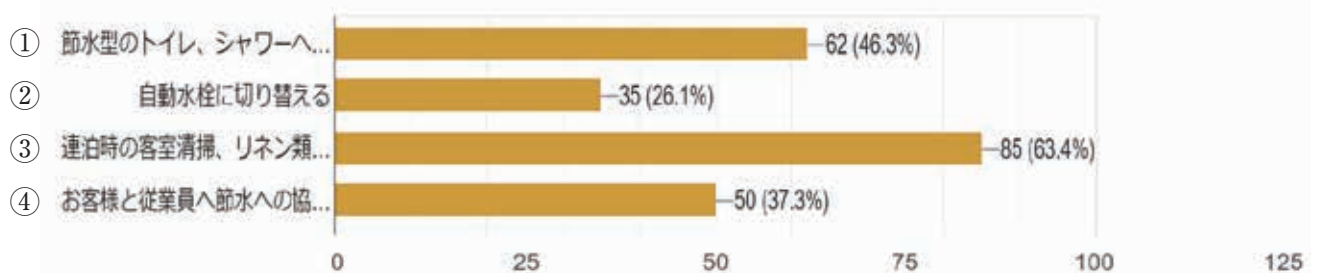
(全員に伺います) 貴施設で実施している取組みがあればお答えください。複数回答可
59件の回答



- 【その他】
- 地域の直売所から食材をこまめに仕入れ食材ロスを減らしている・・・食材ロスへ
 - アメニティは、環境配慮のある原材料製品を使用・・・③
 - 朝食buffetの食器を一部紙製に(トウモロコシ製)・・・③
 - ゴミを減らす・・・④
 - 物を長くつかう・・・④
 - 残った米飯を煮出して自家製の糊として、シーツ浴衣に使用・・・⑤
 - 野草、箸など自家梅園での採集品を加工して使用・・・⑥
 - 間伐材製品を導入している・・・⑦
- 問3-6より 電気自動車充電設備を設置している(準備している)・・・⑧

【問3-4 水資源への取組み】

(全員に伺います) 貴施設で実施している取組みがあればお答えください。複数回答可
134件の回答

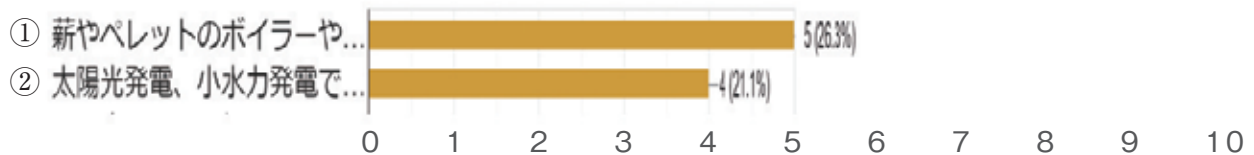


- 【その他】
- 節水トイレの導入予定あり・・・①
 - 水道節水弁を設置・・・①
 - ドールマンSシステム(配管青錆防止)で水質改善・・・⑤
 - 散水用に井戸水を利用・・・⑥

【問3-5 再生エネルギー利用の取組み】

(全員に伺います) 貴施設で実施している取組みがあればお答えください。複数回答可

19件の回答

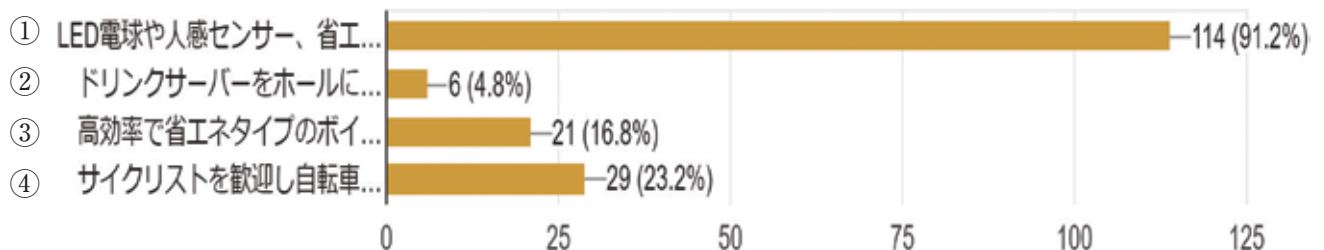


- 【その他】
- 太陽光発電の設置を検討中 ①
 - 囲炉裏を使っている(薪利用) ③

【問3-6 節電と省エネの取組み】

(全員に伺います) 貴施設で実施している取組みがあればお答えください。複数回答可

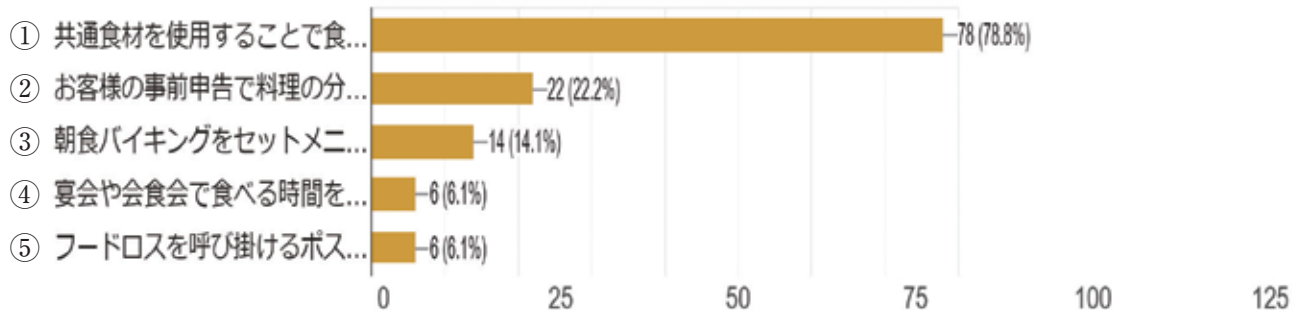
125件の回答



- 【その他】
- 電気自動車充電設備を設置している(準備している)..... 環境負荷軽減へ
 - LED化、省エネのための空調の変更を進めている ①
 - 蛍光灯や白熱電球などの照明器具をLEDに変更し、人感センサーや調光機能システムを利用し照明使用時間を減らすよう努めている .. ①
 - 節電の呼びかけをしている。 ⑤
 - 館内温度設定を統一し、お客様へは温度調整をお願いしている ⑤
 - 必要のない電源は、電源OFFするよう節電を心掛けている ⑥
 - 日中は、ロビーを消灯するなど節電している ⑥
 - 看板などの照明の節電を実施 ⑥
 - 電力調整により節電している ⑦
 - 連泊者の客室清掃日を月・金に固定。それ以外の日の削減を呼びかける .. ⑧
 - 滞在時の客室清掃の希望の有無を聞いている ⑧
 - 公共交通機関でお越しのお客様へ申し出があれば割り引きを行う .. ⑨

【問3-7 フードロス削減の取組み】

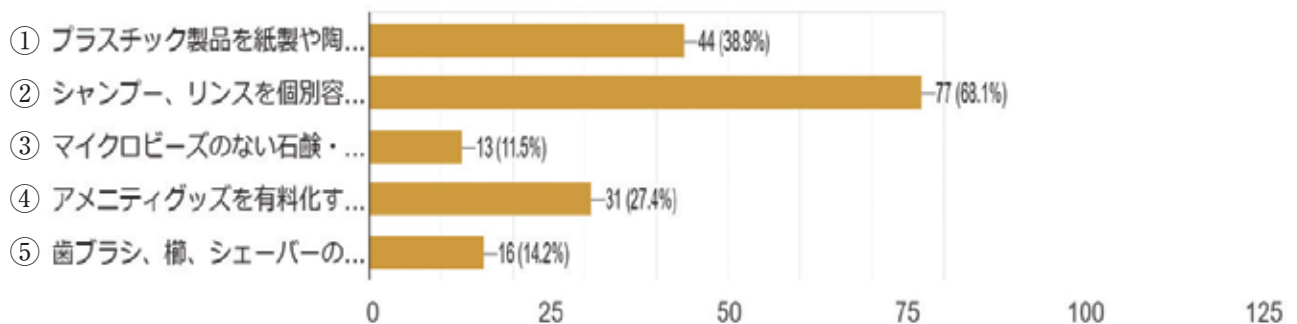
(全員に伺います) 貴施設で実施している取組みがあればお答えください。複数回答可
99件の回答



- 【その他】
- 料理に関しては、食品の量を調整しロスを少なくしている・・・①②
 - 食事量のダウンサイジングをしている・・・②
 - セットメニューでの提供・・・③
 - 可能な限り食材のロスをなくす・・・⑤
 - 朝食buffetの料理を個別盛にしてコロナと食品ロスの対策を実施・・・⑥
 - フードロス対策としてバイキング料理の小出し化を実践している・・・⑥
 - 地域の直売所から食材をこまめに仕入れ食材ロスを減らしている・・・⑦

【問3-8 プラスチック削減の取組み】

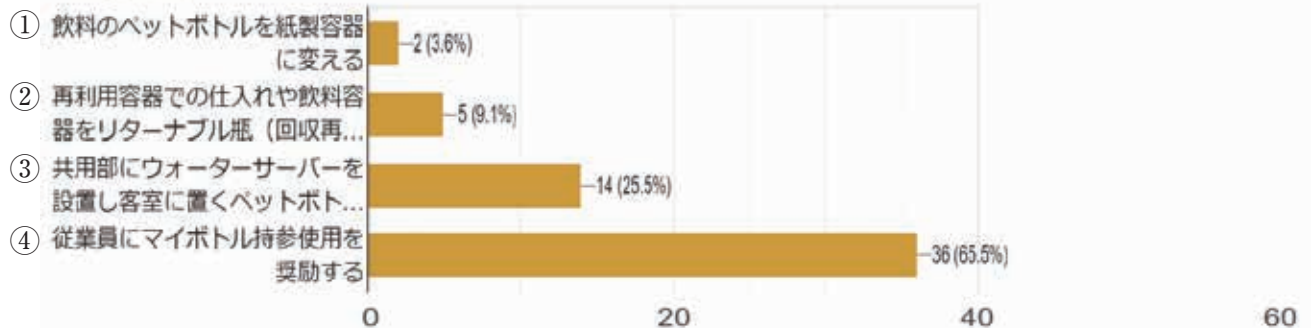
(全員に伺います) 貴施設で実施している取組みがあればお答えください。複数回答可
113件の回答



- 【その他】
- プラスチックアメニティをエコ素材へ変更する予定・・・①
 - 紙のストロー、木製カトラリー、アメニティなど・・・①
 - プラスチックのコップを紙製へ変更・・・①
 - 歯ブラシなどのアメニティのプラスチック減量化・・・①
 - 竹製歯ブラシの導入・・・①
 - レストランで紙ストローを使用・・・①
 - アメニティは最低限にしている・・・⑥
 - プラ製の使い捨てスプーンを廃止・・・⑥
 - 大浴場設置の櫛は消毒して再利用している・・・⑦
 - お客様にご理解いただくため、ポスターを製作中・・・⑧

【問3-9 ペットボトル削減の取組み】

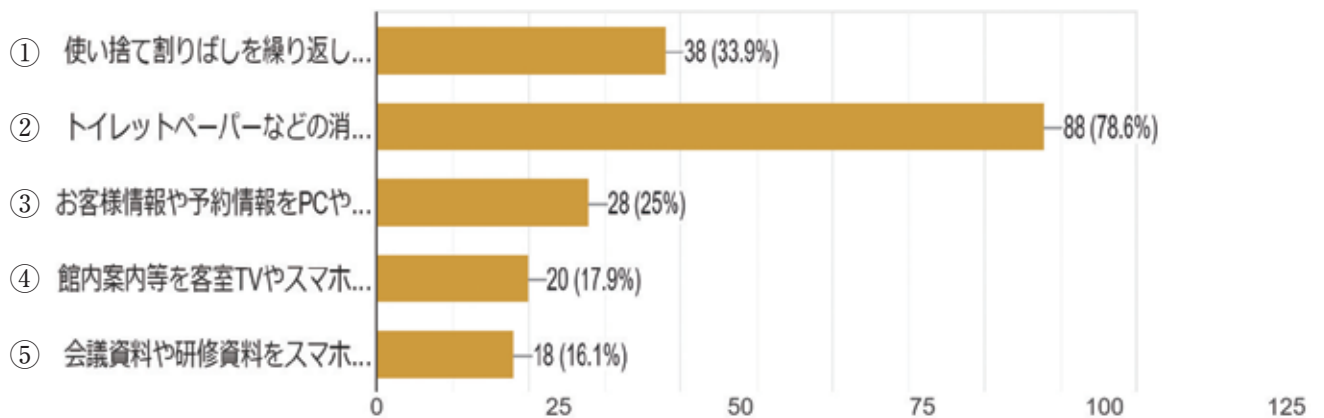
(全員に伺います) 貴施設で実施している取組みがあればお答えください。複数回答可
55件の回答



【その他】 ● 客室のミネラルウォーターサービスをペットボトルからアルミ缶製に変更・・・①

【問3-10 消耗品の消費量削減の取組み】

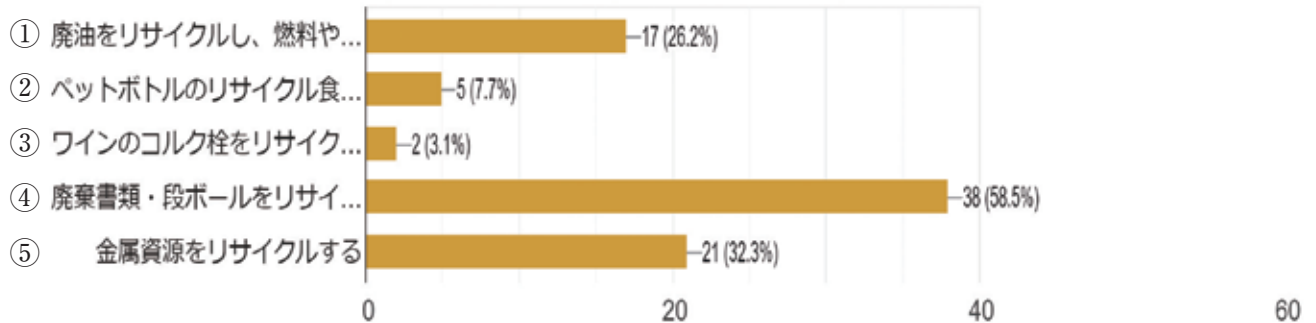
(全員に伺います) 貴施設で実施している取組みがあればお答えください。複数回答可
112件の回答



【その他】 ● 館内案内などのテレビ閲覧システムを導入予定・・・・・・・・・・・・④

【問3-11 資源リサイクルの取組み】

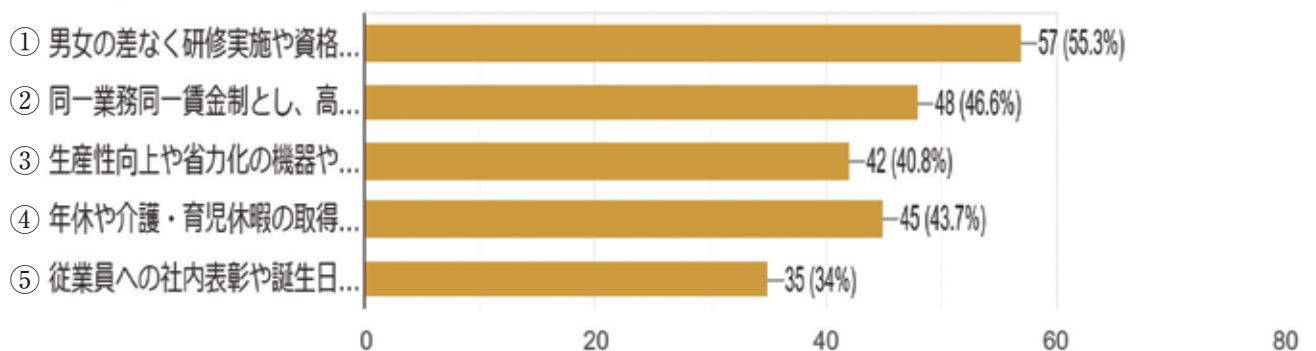
(全員に伺います) 貴施設で実施している取組みがあればお答えください。複数回答可
65件の回答



- 【その他】
- 廃油買い取り業者がリサイクルしている ①
 - 客室のゴミ箱を燃えるゴミと燃えないゴミに分別している . . . ②～⑤
 - 社内の雑紙をリサイクルし客室トイレトーパーやティッシュに . . . ④
 - 古紙、ダンボール、アルミ缶は障がい者施設へ寄付している ⑥

【問3-12 働きやすい環境づくりの取組み】

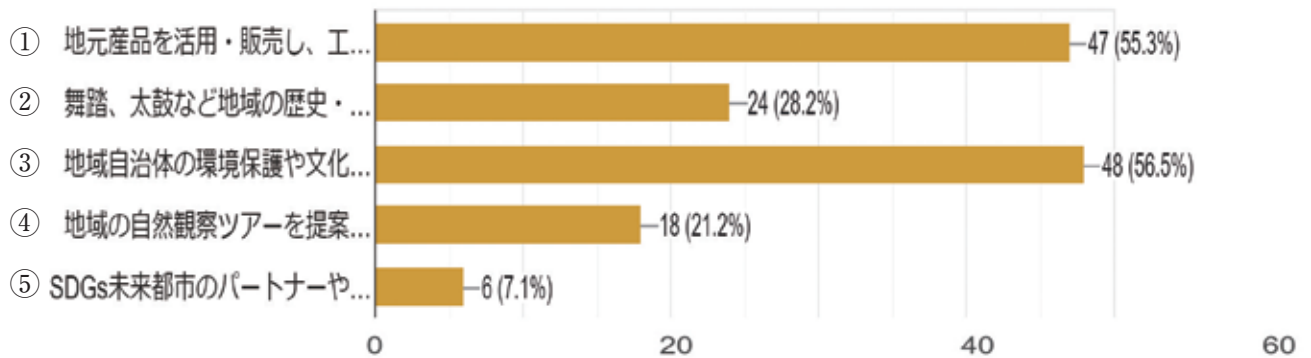
(全員に伺います) 貴施設で実施している取組みがあればお答えください。複数回答可
103件の回答



- 【その他】
- マルチタスク導入で従業員の作業効率化、勤務時間短縮に努めている . . . ③
 - 勤務はローテーション式にして休みたい時に休めるようにしている . . . ④
 - ワンオペなので、できるだけ自分でやっているが、一週間に一日は
休日にする様に努力している ④
 - 従業員満足度のアンケートを毎年実施し、改善している ⑥

【問3-13 地域にある資源を活用し、地域社会の発展に貢献する取組み】

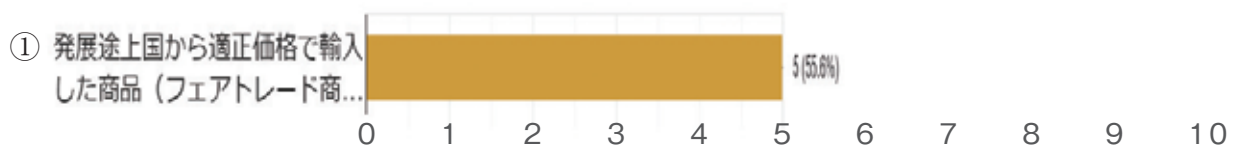
(全員に伺います) 貴施設で実施している取組みがあればお答えください。複数回答可
85件の回答



- 【その他】
- 地域特産品を売店と食事の両面で活用している ①
 - 地元のファーマーズマーケットで購入仕入して、地域の食材を使用する ①
 - 出来る限り地産の食材を使用し、お客様に提供するよう取組んでいる ①
 - 地元寺社のコミュニティ活用への積極的な協力 ②
 - 毎月、お客様参加型でホテル前のビーチクリーンを実施 ③
 - 浜松市のクールシェア、ウォームシェア施設に登録している ③
 - 予約受付後にmailで部屋の写真や周辺レストラン情報を案内している ⑥
 - 津波避難ビルに指定されている 3-2災害備えへ
 - 町ではなく町内自治会から非常時の受入れを依頼されている 3-2災害備えへ

【問3-14 開発途上国への配慮の取組み】

(全員に伺います) 貴施設で実施している取組みがあればお答えください。複数回答可
9件の回答



- 【その他】 ● HPにおいて複数言語でガイドをしている 3-1お客様配慮へ

【問3-15 その他全般に関する取組み (自由記載分より)】

- 【意識啓発】 ● SDGsバッジを着用し、SDGs啓蒙として社内にポスターを掲示
- 【その他】 ● 施設のクオリティアップにつながっている

「旅館ホテル持続可能な経営推進事業」調査検討ワーキング

【活動期間】 令和4年6月～令和5年1月

【メンバーの一覧】

役 割 等	氏 名	所 属 等	地 域
座長	西野 勝明	県立大学経営情報学部客員教授	
専門アドバイザー	吉松 道朗	サラヤエスピーエス(株)	
専門アドバイザー	府川 博明	当組合前専務理事	
旅館ホテル営業者	伊藤 晴美	伊東温泉大東館	伊 東
旅館ホテル営業者	伊庭 勝彦	下田東急ホテル	下 田
旅館ホテル営業者	渡邊 恭宏	ホテルニューセントラル	富 士
旅館ホテル営業者	入谷 真弘	ホテル盛松館	静 岡
旅館ホテル営業者	松永 亜弥	せせらぎの宿紅竹	静 岡
旅館ホテル営業者	石川 和彦	I W A T Aステーションホテル	磐 田
事務局	小川 英雄	静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合	
事務局	杉田 志野	静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合	

【活動状況】

令和4年	種 別	内 容 等	備 考
6月30日	第1回検討会議	全体の進め方 SDGs取組み実態調査について	
9月26日	第2回検討会議	アンケート調査結果 SDGs推進に関連するホテル旅館の業務について	
11月2日	先進事例視察	下田東急ホテル視察	
12月26日	第3回検討会議	SDGs推進ガイドブックについて	



第1回会議風景



第2回会議風景



第3回会議風景

【先進施設視察：下田東急ホテル】



ペットボトルキャップで「ぺるりん」作成
(ご当地キャラクターでお子様向け意識啓発)

ホテル目の前の公共ビーチ鍋田浜の清掃を従業員で月1回、夏場は週1回実施している。

宿泊客にも参加を呼びかけており、参加者には、特製エコバックを贈呈している。

また、ゴミポストを設置し、海岸を通行する市民にゴミ回収を呼び掛けている。



アメニティ未使用でグリーンコイン
(コイン相当分の植樹へ貢献)



ホテル内雑紙をトイレ紙に再生
(地元紙「伊豆新聞」で紹介された)



伊豆の食材(野菜・米・牛肉)を使った食事



客室アメニティ：プッシュボトル式



アメニティバイキング



環境に優しい素材でできた歯ブラシ



ペットボトルに代えてアルミ缶を使用

静岡県

静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合

静岡県静岡市葵区紺屋町11-1 浮月ビル5F
TEL:054-254-6388 FAX:054-254-6390

<http://www.shizuokayado.jp>

作成:令和5年3月 編集・デザイン:株式会社マーレプランニング